

専門職大学院構想に関する地域ニーズの調査結果について

I 対象別のニーズ

1 企業・自治体のトップのニーズ

- 福井県内及び近隣の企業 83 社，県内の 11 自治体に対し個別折衝。
(折衝時期) 平成 30 年 3 月から継続中
(折衝結果) [別紙 1-1](#)，[別紙 1-2](#) のとおり

- 上記個別折衝に先立ち，国際地域学部地域連携協議会構成員，福井県中小企業団体中央会加盟企業，留学生・県内企業合同説明会参加企業，福井大学同窓経営者の会理事企業にアンケート調査実施。
(調査時期) 平成 29 年 11 月～平成 30 年 6 月

2 企業・団体の若手社員・職員のニーズ

- 福井県内の企業・団体に働く若者を対象とした次代のリーダーを育成する「考福塾」の第 5 期生 39 人にアンケート調査実施。
- (調査時期) 平成 30 年 2 月
(調査結果) [別紙 2](#) のとおり

3 学生のニーズ

- 専門職大学院設置時に進学対象となる学部生等に対し，複数回のアンケート調査実施。
- 国際地域学部
(調査時期) 平成 30 年 2 月，5 月，12 月
(調査結果) [別紙 3-1](#)，[別紙 3-2](#) のとおり
 - 工学部
(調査時期) 平成 30 年 2 月，5 月
(調査結果) [別紙 3-3](#) のとおり

II 専門職大学院設置への期待（まとめ）

上記 1 の企業・自治体との個別折衝において得られた，本専門職大学院への期待を取りまとめた（[別紙 4](#) 参照）。

III 教育内容に関するニーズ（まとめ）

上記 1 の企業・自治体との個別折衝及びアンケート調査において得られた，本専門職大学院の教育内容に関するニーズを取りまとめた（[別紙 5](#) 参照）。

IV（参考）地域におけるニーズ調査の経緯と調査書式（[別紙 6](#) 参照）

(白 紙 ペ ー ジ)

地域の企業や自治体からの派遣の見込み

平成30年11月までの個別折衝結果（対象：県内及び近隣の企業83社，11自治体）

1. 企業

- ① 派遣可能 **28社**
- ② 将来的に派遣検討 **15社**
- ③ 構想に賛同するが
現時点での派遣困難 **13社**

2. 自治体

- ① 派遣可能 **8自治体**
- ② 派遣の方向で
引き続き検討 **3自治体**

- 本大学院構想に賛同する企業・自治体は**67組織**（個別折衝を行った企業等の約7割）
- 企業**28社**，**8自治体**の合計**36組織**から本大学院への社員・職員派遣の回答があった。



上記36組織のうち，企業16社，6自治体から具体の派遣計画の提示有り（継続中）

企業等からの派遣計画と派遣希望年度（H31.1時点）

（単位：人）

区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
企業	8	8	7	6	7
自治体	4	1	3	1	2
合計	12	9	10	7	9

(白 紙 ペ ー ジ)

専門職大学院への派遣計画一覧【企業】

本一覧は、派遣可能との回答が得られている企業28社に対し、具体の派遣計画を照会し、その結果を取りまとめたものである。

No.	企業名	派遣計画				備考
		2020年	2021年	2022年	2023年	
1	企業1	若干名				(派遣計画提出あり)
2	企業2		1			(派遣計画提出あり)
3	企業3			1		(派遣計画提出あり)
4	企業4		1		1	(派遣計画提出あり)
5	企業5					これからの期待する社員を派遣することになるが、スキルを身に付けて出ていく場合もある。
6	企業6	1				(派遣計画提出あり)
7	企業7					この大学院へ行きたいという意欲のある社員がいれば、会社として支援したい。
8	企業8					一人派遣し、間隔を空けてまた派遣するという感じだが、タイミングもある。
9	企業9	1	1		1	(派遣計画提出あり)
10	企業10					内容が良ければ、思い切って派遣する。ユネスコなら、半年派遣もあり得る。
11	企業11	1		1	1	(派遣計画提出あり)
12	企業12			1		(派遣計画提出あり)
13	企業13		1		1	(派遣計画提出あり)
14	企業14					候補者を決めて段取りしていく必要があり、見込み通りにいけば、派遣。

No.	企業名	派遣計画				備考
		2020年	2021年	2022年	2023年	
15	企業15		1		1	(派遣計画提出あり)
16	企業16					幹部候補生1, 2名を、将来、この大学院に出したいとの構想を持っている。
17	企業17	1	1	1	1	(派遣計画提出あり)
18	企業18	1		1		(派遣計画提出あり)
19	企業19					派遣したい候補者は2名おり、会社としては派遣の方向で検討し、派遣できるように努力したい。
20	企業20					あと2, 3年経つと会社にも余裕が出来、1, 2名は派遣できると思う。
21	企業21					この大学院に誰か是非行かせたいと思っており、前向きに検討する。
22	企業22					大学院の正式設置が決まれば、具体の派遣について検討する。
23	企業23	1	1	1	1	(派遣計画提出あり)
24	企業24					2020年4月に向け、一人でも出せるよう、社内で検討したい。
25	企業25				1	(派遣計画提出あり)
26	企業26					将来の幹部候補生の育成のため数年に1人派遣することは検討できる。
27	企業27	1	1	1	1	(派遣計画提出あり)
28	企業28		1		1	(派遣計画提出あり)
企業派遣予定人数		8	8	7	6	7

・企業12は、2020年でカウント。
・企業1の分は、カウントせず。

専門職大学院への派遣計画一覧【自治体】

本一覧は、派遣可能若しくは条件が整えば派遣可能との回答があった11自治体に対し、具体の派遣計画を照会し、取りまとめたものである。

No.	自治体名	派遣計画					備考
		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
1	自治体1	1		1		1	(派遣計画提出あり)
2	自治体2				1		(派遣計画提出あり)
3	自治体3	1					(派遣計画提出あり)
4	自治体4	1			1		(派遣計画提出あり)
5	自治体5	1		1		1	(派遣計画提出あり)
6	自治体6						希望者は是非行かせてやりたい。
7	自治体7						2023、2024年度辺りであれば対応は可能と考える。
8	自治体8		1				(派遣計画提出あり)
9	自治体9						国際的視点は外せないと思うが、市の事情としては、基盤固めの段階である。前向きには検討したい。
10	自治体10						派遣について、引き続き、協議したい。
11	自治体11						職員から希望があり、どのような目的で行きたいか明確なビジョンがあれば派遣について検討する。

自治体派遣予定人数	4	1	3	1	2		・自治体2の派遣年は、2022年でカウント。
-----------	---	---	---	---	---	--	------------------------

企業・自治体派遣予定人数合計	12	9	10	7	9		
----------------	----	---	----	---	---	--	--

(白 紙 ペ ー ジ)

大学院への社員派遣に係る個別折衝状況（企業）

注) 企業名欄の黄色マーカー表示は院生派遣予定の企業、青マーカー表示は将来的に派遣検討の企業、無地は構想に賛同だが現時点での派遣困難の企業を、それぞれ示す。

No.	企業名	大学院への社員派遣に係るニーズ	
		企業情報	①業種 ②事業内容 ③海外展開先等
1	企業1	<p>〔(日付)は、当該企業との個別折衝日〕</p> <p>(7/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の8割が海外で使われているにも関わらず、海外のことを全く知らないという訳にはいかないと思っている。世界を相手としたビジネスなのでグローバル感覚を身につけることは重要と考えている。 ・弊社には1年間の海外研修制度があり、海外グループ会社で1年間働き、グローバル感覚を身に付けるようにしており、この大学院と弊社のベクトルがあっていると思う。海外研修に英語は必須なので、行きたくないならば英語習得してということになる。この大学院は、基本的には事務職に受け入れやすいように思うが、技術者も学ぶべき内容だと思ふ。 ・生産は基本的に海外と考えており、国内には限界があるため、海外進出は切っても切れないと思っている。技術系の人間にも英語が必須であり、特に、技術系の人に、語学力や国際感覚を身につけて欲しいと思っている。この大学院では異業種の人との交流があるという点も面白いと思う。 ・この大学院の構想、目的、ねらいのベクトルは弊社と合致しているので、前向きに検討していきたい。(8/10) ・社内でも検討し、この大学院の方向性は本社の方向性とも合っているので積極的に協力していきたい。 ・院生派遣については、希望があれば会社としては積極的に協力するが、海外研修等で業務にも支障があるため、希望した人全員という訳にはいかない。社内で公募をかけて手を挙げた人の中から適切な人を派遣したい。(10/24) ・大学院への派遣について社内で検討した結果、従業員に対し公募の形をとり、強い希望がある者を送り出すこととした。応募が複数名あった場合には、本人に意思確認し、キャリア形成のためのヒアリングなどベストな選抜を行い、2年連続派遣もあり得る。この公募に向けて、枠組みを作り、支援していきたいと考えている。 ・まさにこの話しは人材育成であり、多分、何人かから手が挙がると思うが、そのように仕掛けていきたい。 ・費用負担は、会社と本人のキャリア形成については半々のイメージで、他社員との兼ね合いもあり、出来るだけ支援していきたい。海外事業体がある訳でなく、海外での直接の営業もなく、自己啓発、グローバルマインドの醸成のために有効な手段と考えている。 ・大学院での語学教育に関しては、社内で始めた、英語に慣れ親しむ英会話が、ビジネスシーンで使える英語になればと期待している。 	<p>①製造業 ②自動車用自動変速機(A/T)部品、等の開発・製造 ③北米、欧州、韓国、中国、タイ</p>

【具体の派遣計画の提示あり】

企業2

(4/27)

- ・欧州に駐在員事務所開設。海外展開に際しては、語学力がある人材を採用し、日本での商売や製造を学んで貰い、海外展開に関するトップの判断を片腕として支援できる人材、総合的な経営者の感覚が必要。国際感覚、ビジネス関係法等、現地を担当する人材に何を学ばせるべきかがある。
- ・海外展開には、まず仕入れ、海外調達が優先で、それをやりながら拠点形成して行く必要がある、今のうちに学ばせておく必要がある。海外で日本の常識は通じず、まずは実体験でビジネス感覚や慣習等の理解が必要。JETROも活用するが、更なる情報収集のための経営者の能力が必要。専門人材は育成できるが、マネジメンツ的な分野は教えにくい、ゼネラル的人材育成は難しい。分析力、マネジメンツ力は重要。工学系でグローバル系も良い、深くより浅く広く捉えることも大事で、マネジメンツに向いている。実際のビジネスと関連付けて学ぶことは重要で、商社ではマーケティングを学べると良い。
- ・社会人になると勉強の機会が減り、雇用主にはこのような学びの配慮が必要と思う。机上の理論と実地のバランスは重要である。
- (10/16)
- ・海外展開を考えているが語学面で人材がいなかった。3年半前に帰国子女を採用したが、マネジメンツの勉強もして貰おうと考えたが、難しい。語学力は良くとも、マネジメンツが出来ないと現地駐在所のトップとして分らないことが多い、社長自身が同行して営業開拓をやっているが、判断させられない。
- ・将来的に別のエリア・商品に関し海外展開していく上で、期待できる若手・中堅を選び、大学院に派遣したい。
- ・欧州において、メーカーとして、アルミ建材の販売を考えて、生産物の流通、末端の販売店、工事店の開拓をしているが、目途がつかないと進出はできない。構想にあるように、現地で調達・加工と市場調査を如何に同時展開させていくことについて難しさを感じている。
- ・東南アジアも可能性としてはあるが、ここ数年は、まだそこまで商品価値が認められづらい。
- ・誰を派遣するかについては、スキル、語学レベルにもよるが、いざ海外となると、営業・生産・加工・流通の全てを分かっているかという点で、(社長)自身は全て理解しているが、社員は一部のみで、その枠を超えてとなる。
- ・工場長や営業次長など、40歳過ぎの年配者に行って貰い、全てやって貰うのが普通だと思う。ある程度全体を分かっている人ならば、派遣する際のリスクは低くなる。実際には、交渉には通訳を入れ、二人でパートナーを組んで行う、流通までは英語を使えるが、ワーカーは現地語のみとなると、生産が分かっている者が一名は必要になるが、営業は分からないことになり、難しい。二人の方が精神的に楽で、その意味で50歳代とも考えられるが、現地の考え方が受け入れられないと言っている。
- ・この大学院構想は、海外展開しようとしている所の人材の事前養成になる。これだけの内容をこなすことが出来れば、バイタリテイのある人材になり、将来の幹部候補生になれる。現地展開が済んでいる中では、次の人材を育てていく形かもしれない。
- ・一種の修行だと思ふ、これがきっちり出来たら何でも出来るだろう、中途半端が一番まずい。
- ・学部を卒業し、社会に出て、また、この大学院に入るのが理想だと思う。海外にどンドン出て行く必要があり、こういう所での教育が必要だと思う。まずは2020年度派遣に向け配慮する。

[具体の派遣計画の提示あり]

- ①製造業
- ②アルミ外装建材製造販売
他
- ③欧州に進出予定

3	企業 3	<p>(8/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社の代理店は、世界各国にあり、ヘッドホーン等を販売している。ある程度の語学力が必要と思うが、意欲もあって素養のある人間で大学院に派遣できる人材は急には浮かばないが、この大学院派遣を目指した人材を作っていくのは可能で、検討したい。 ・会社でも英語教育に力を入れ始めたところで、英会話教室やトピック受験の補助を行っている。この会社の売上げ先は本社で、そこから製品が海外に出て行くが、現地法人が多く、そのコミュニケーションが重要となっている。地方工場として生きて行くには、海外の関連会社とちやんとやっいていく必要があり、そうでないと存在価値がなくなる。 ・仕入れ、販売ともに海外の比率が大きく、買うにも売るにも外国人との付き合いは重要となっている。この大学院で研修した社員が社内に居ることは将来に向け、非常に良いことだと思う。会社採用される者の割合は、8割が理工系であるが、全体的に英語は苦手なようである。この大学院構想は、ユニークな取組だと思ふ。 (11/1) ・社内でも英語研修を行っているが、なかなか難しい。社員派遣が2020年4月に派遣可能かは分からない、もう少し先になるかと思ふが、派遣したい。派遣社員は、経験が5年位ある30歳代か、20歳代の独身社員とも思っている。 <p>[具体の派遣計画の提示あり]</p>	<p>①製造業 ②各種マイク ロホンシステム等企画開発・生産 ③本社を通じ海外販売</p>
4	企業 4	<p>(7/25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、全自動大型タイヤ交換機メーカーとして国内唯一、売り上げは、近年横ばい状態。国内需要の縮小を見越して、販売+製造拠点としての海外進出を検討中で、そのための人材育成を考えていたところ、この大学院の話を知った。 ・大学院でグローバルな視野が持て、異文化を経験できることは非常に良いことである。将来の役員候補、現地法人を立ち上げればそこを任せられる人材をこの大学院で育てたい。ただ、派遣にあたっては勤務体系などの社内整備が必要。また、語学に対する恐怖感がある。 (11/1) ・国内だけでは製造能力が限界に達している。競争相手は海外企業で、現在、海外には専門商社を通じて販売している。強みはメンテナンスで、海外企業は無保証なので、そこに強みがある。国内の製造能力では受注に追いつかず、人手もないことから海外進出を目指し、調査を開始している。東南アジアは20年前の日本の状態のようである。国内の人口減で機械の保有台数が減れば、整備需要も減り、じり貧となる見込みであり、中国、東南アジア等に拠点を設ければ売れると思うが、社員は英語も満足に話せない状況である。そんな人材を外部から確保すると言う考えもあるが、自動車や製造に精通した人材はなかなかおらず、これから人材育成をしようかと考えている。 ・社員を、マネジメント出来るレベルに引き上げたいと思ふが、今は仕事に追われアプアプの状態であることから、製造や開発を支援できる人材を確保して、大学院へ行かせようと考えている。弊社の部長は40歳代、課長は30歳代で、将来の会社を背負って行く人材育成のために、この大学院を活用したい。 ・この分野は狭く、他に交流もなく、狭い分野で出来ても海外で出来るかと。海外格差はすごく、腰を据えて海外の状況を調査して、すぐに黒字にならなくとも、将来的に食っていくようにする必要がある。海外で売れないとじり貧で、海外に販売・製造の拠点を必要があり、そのための人材が必要である。 ・5年間に二人位は出したい。派遣出来るのは、40歳代部長級、30歳代部長級と考えており、そうでないとこのような課題に対処出来ない、また、一人だけ派遣しても駄目だと思っている。出すとしたらNo.1を出す。技術に詳しく、システムの実務も出来て、マネジメントも出来る人間を出したい。また、この大学院で人脈作りもして欲しい。整備業界、タイヤのことしか知らないでは駄目で、この大学院を出て、将来の役員になることを期待している。 	<p>①製造業 ②タイヤサービス機械製造 販売他</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣には環境整備が早急に必要で、その意味で2020年派遣は難しいかと思う。30歳代後半の社員を出したいが、会社を中心に人材で、会社が回らなくなるとの心配もあるが、複数名候補を出し、その中にそんな人材も入れておきたい。 ・実務だけやっていたら楽だが、考えることが必要で、会社と違うことに触れさせて、考えるステップを踏ませるような育成が出来ればと思う。お金は負担するので、そのようなことに、投下したい。 ・海外研修は、海外での工場の立ち上げとか、大学院での学びが仕事に直結するよう内容が良く、大学提示の「フィージビリティスタディと仮想新立地」が良い。どこに工場を置き、誰の世話になるとかが考えられるが、そのような学びを1ヶ月で出来るかどうか。そのため、大学院には、開発や製造に詳しい人間を出したい。ベトナムは視察したが、遅れており、道路を走っていたら、パンクするだろうと感じた。他の国についてもマーケット調査をして、本当に工場を作れるかどうか等、もっと調査が必要と考えている。 	
<p>5</p> <p>企業 5</p>	<p>【具体の派遣計画の提示あり】</p> <p>(8/3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社では、ものづくりは福井で、顧客は海外に求めており、そのために海外で商談できる人材とすることで、英語の出来る人材を採用している。その子らが営業できるかは未知数であるが、実績を挙げている者も2名いる。OJTでやっている部分が多く、こんな大学院が地元であれば、どのように活用するかはある。2年という期間を長いと感じる反面、どつぶりの方が良いかとも思う。マーケティングについては東京から講師を呼んでおり、販促物も都会の感性で、また、アパレル関係のツール作成にもアドバイスを得ている。また、最近では、外国人雇用への対応も必要と考えており、外国人の定着に向け、この大学院がレベルを敷いていくのが良いのではないかと思う。 ・大学院に行くと行くと行くと、行きたいと言いたい人間は居ると思うが、今の業務の状況で行けるかどうか。大学院と実務を結びつけるには、10年ぐらい仕事をやってきて30代で大学院に入るのがタイミン的には良く、この大学院での学びは貴重な体験になると思う。 ・この考えに賛成で、地方大学が特色を出していくため、福井大学カラーを出していくことは大事。福井にどんどん人が入ってくるためにも、この構想は良いと思う。会社に入ってからでも学びは必要で、仕事をしながら学ぶ、自己研鑽が必要であり、そうでない続かない。 ・自分からこの大学院に入りたいと言いたい社員がいれば支援する。良い仕事をするかどうかは人の質であり、どうしたらもっと良い物が出るかと思いたい人間が少しでも増えてくれる必要があり、尻を叩いてでも環境を変えなくてもあるかと思っている。派遣については検討する。 <p>(10/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20代独身は動きやすいかもしれない。今までは企業に愛着を持ってというのがあったが、今の社員は、大学院で英語力とかが高まると、他の企業を考え始める。大学院でスキルが上がると収入が良い所を考えるかもしれない。 ・場合によっては、大学院に派遣することが会社にとってマイナスになる場合もある。当社の場合は、これからの期待する社員を派遣することになるが、スキルを身に付けて出ていく場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②熱転写ラベルの製造・販売他 ③イギリス、アメリカに 関連会社

6	企業 6	<p>(5/24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外経験は 40 人位。常時 20 人位が海外赴任している。単に英語が話せるだけでなく、外国人とコミュニケーションができることが大事であり、マーケティング、コミュニケーション、アカウンティングの科目が必要であると思う。財務なのか企画なのか、どういう人材を派遣した方が良いのか、今すぐには思い浮かばない。 (7/23) ・社員派遣にあたり、英語能力が心配である。海外展開にあたり、これまでは海外経験のある人材を採用してきた。ここで働く社員の中に、英語力や相応の能力を有する人材はそんなにいないが、検討したい。 <p>[具体の派遣計画の提示あり]</p>	<p>①製造業 ②メガネフレーム等の商品 企画・デザイン・製造他 ③中国、香港、イタリヤ、オランダ、スペイン、オーストラリア、アラブ、イギリス、ドイツ、フランス、アメリカ</p>
7	企業 7	<p>(8/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、海外に対してはシンガポール、中国に特殊セメントを輸出している。シンガポールはセメント工場がなく、全部国外からの輸入となっている。生産拠点は国内に 9、海外に 8 箇所あり、自社はその一つであり、本社からのオーダーに基づき、海外に輸出している。 ・今後、グローバル化は益々進み、海外と繋がって行くと思う、海外展開戦略等については、本社の海外事業本部が行い、そのために本社では必要な人材が積極的に採用されている。弊社でもその必要性があるが、社員数が少なく、難しい。 ・社員の研修では階層別や分野別の研修を行っているが、親会社ではダイバシティを進めており、親会社にくっついていくためにも、親会社との人的交流が必要であり、この大学院で学んだ社員が、親会社に逆出向と言うことも考えられる。人材育成は重要であり、この大学院へ行きたいという意欲のある社員がいれば、会社として支援したいので、前向きに検討したい。 	<p>①製造業 ②各種セメントの製造、販売他 ③シンガポール、中国に輸出</p>
8	企業 8	<p>(7/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院派遣は、企業としては実利的な目的が必要だが、海外進出に際し、語学、財務、マネジメントを事前に総合的に学び、現地の社長に就任してもらいたいイメージである。現地の社長はタイ人や中国人ばかりでなく、日本人としても行って貰いたいと考えると、このような機会を身に付けて貰いたいと思う。 ・弊社はものづくりなので、現在、海外には機械系ばかりで、財務を知らない者が行っている。そのような人間に大学院で 2 年間勉強して行ってもらうことは価値がある。まずは、日本人が立ち上げ、それを現地の人間に任せられるのが良い。現状では、日本人を現地に送るに際し、特に研修もせず現場、営業の人間を送り、また事前に学ぶ仕組みもない。拠点を作ろうとすると何ヶ月単位での動きとなり、通訳を付けて送り出し、何とかしろという状況で、現地で社長になる人間に対し、この大学院で事前準備が出来るに越したことはなく、お願いしたい。これまで福井大学とは産学官連携本部のお付き合いがあったが、さらにこのように広がることはありがたい。 ・日頃の研修は福井県の補助金が出る制度やジェトロの活用程度。大学院のカリキュラム内容もこんなイメージで、大学院に派遣する時は、会社側の費用で支援したい、コンサルタントに払う金額を考えれば、大学院に要する費用は高くない。一人派遣し、間隔を空けてまた派遣するという感じだが、タイミングもある。 	<p>①製造業 ②高圧配管等の製造・販売他 ③タイ、フィリピン、中国</p>

(3/22)

- ・現地法人への送り出し、現地工場でのオペレーション程度なら自社で可能。この大学院では海外でネイティブと議論できれば良いかもしれない。全く別の分野が良い、異文化に飛び込み、新しい経験、刺激が必要で、実体験が大事である。
- ・現場からは、将来、現地で顧客獲得、新しいビジネス、仕事の幅を広げることの出来る人材を送り出したいと言ってくるだろう。海外に行くなら体験を重視したい。

(10/16)

- ・興味がある研修先は、JICAやユネスコ、そこに耐えうる20～30歳前半までの社員を受けさせたいと思っている。今まで、それだけの時間を割くのは厳しかったが、若手社員のグローバル化に向けての育成は優先度が高くなってきている。
- ・派遣対象は、かなり若い社員層であり、30歳後半だと、ビジネススクールの話が多くなくなり、実務的になって来る。この大学院が刺激になるのは、20歳代前半だと思う。社員には工学系が多く、これまでにビジネスについて学んでいないと言ったり苦意識がある社員が多いが、財務諸表等は製造業にも共通するものである。また、ビジネス交渉、リーダーシップに関しては、その人の得手、不得手があり、この大学院で自信を持って貰えればと思う。JICA等で刺激を受けるような社員は、会社から羽ばたいてしまいかもしれないが、そう言う機会がある会社と言うことで、自分の可能性を伸ばすことが社内で出来ることを感じて貰えればと思う。
- ・大企業では色々な人材育成をしているが、地方の中小企業では難しく、仕事を見る視点が狭くなりがちである。刺激を受け、自分の価値観が揺さぶられるのは若い時だけだと思う。県大の大学院も活用しているが、学び直しを通じ、自信を得ている。
- ・大学院の必要経費は、修了前提で会社負担、平日に行くのも業務の扱いとし、学んだことが業務の中に出て来るだろうと期待している。同様に海外研修の費用は出張扱いになると思う。
- ・派遣のセレクトは本人の意思に基づくが、2020年に福井にそのような候補者が何人いるか、必要な本社勤務に戻すことも必要になるが、そのような人数をどれ位持てるか、これまで、海外に送り込むような余裕はなく、漸く教育に時間を割ける余裕が出て来た。
- ・従来の仕事をさせていて、新しい事業と言うのは出来ない。実務だけを通して、マネジメントに近い動きを期待するのは厳しい。今、求められるのは、海外事業を拡大しようとする時、その分野では一流でも、異分野にボンと放り込まれ、管理的なこと、人のマネジメントを言うのは全く異質な話で、そのような人材の育成には時間がかかると。この大学院への期待は、30歳代前半の人がどう幅を拡げてくれるか、会社がそのような道筋を作ることが出来るかどうかである。色々な分野をまとめて学ぶし、会社組織以外のものも見えてくるとか、今の会社に居ない人材を育てる必要がある、今までのような人材育成では済まなくなっている。この大学院は面白いと思う、社内でも語学力が十分でないことから、TOEIC450点を全社員の目標に掲げた。大学院へは派遣したいと思うが、出せても一人、連続ではなく、一人済んで次の一人ぐらいで、それくらい層が厚くなって欲しい。
- ・そう言う若い人の活躍の場を、従来の場でない所で広げる必要がある。放っておけば、その中だけになってしまい、意図してやっていく必要がある。そんな人材は外部から簡単に引っぱって来られない。経験豊富な人の話は聞けるが、実際に動ける人は自前で育てていかないと、どうにもならない。今の売上げを維持しているのは今の仕事、その中から見込みのある人間を引っぱらうと言う話なので、時間をかけてでも人を育てて行かないと将来の成長はないが、各論は難しい。

【具体の派遣計画の提示あり】

①製造業

②建築資材の製造・販売他

③アメリカ、ベトナム、タイ

10	企業 10	<p>(3/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 弊社の場合は、JICA とか、全く異なる体験をするのが良いと考える。会社が独自で出来ないプログラムが良い。商社体験も良いがお客になってしまふ、主体的に動かなければ意味がない。(7/13) 企業としては、社会人を送りこんだ場合にどのようなことが学べるのかが重要。弊社において将来の幹部候補生（20代後半～30代）に進めているのは、専門的に学べるグローバル経営大学院等の MBA である。県立大学の経営系大学院にも人は出している。MBA は会社を休んで学んでおり、費用も企業が全額負担している。 内容が良ければ、思い切って派遣する。ユネスコなら、半年派遣もあり得る。(10/24) この大学院での海外研修に期待する内容、国際ビジネスマンに必要なのは、財務力、法務力、英語力と、あとはマーケティングである。2年間、授業だけでなくテストもあるだろうし、相当、志が高い人間でないと、どういいう人間が良いか。とにかく、派遣について具体的に検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②繊維工業用界面活性剤の製造、販売他 ③韓国、台湾、中国、香港、インドネシア、ベトナム、タイ、バングラーデイシユ、アメリカ
11	企業 11	<p>(7/26)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度初めて県の国際ビジネス人材育成支援事業に1名申請を出しているところである。いろんな形式で形を変えながら研修は行っているが、最近では専ら社内研修が中心で、年間60講座程度あり、勤務時間外・自由参加にも関わらず、人気のある講座はすぐに埋まってしまふなど、学習できそうな土壌はできているが、社内で力を付けてきた社員に、海外でのそのような経験も積ませたいので、この大学院構想はととても良いと思う。(10/16) 現時点で具体的に何時に何人とは言えないが、派遣について、具体的に検討する。 <p>【具体の派遣計画の提示あり】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②特殊形状の精密鍛造パーツ等の製造・販売 ③香港、シンガポール、タイ、アメリカ
12	企業 12	<p>(3/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> 福大と連携し大学院で人材育成を行うことは、メリットがある。(7/17) 人材育成にはリベラルアーツが大事、この大学院として、人間性、歴史観、文化、哲学といった科目を加えるべきで、他の大学院にはない特色になる。海外では若い人が頑張っているが、商売では数字も大事だが歴史観や哲学といった話ができないと駄目である。社内での研修として〇〇塾をやっている。MBA はあまり評価していない。(10/19) 管理本部長と相談したが、通学のことを考えると福井にいる社員になる。平等を考えると公募し、試験で決めるとか、社内ルール化、制度化が必要と考えている。今、福井にいる社員で行かせたい社員がいるかという点と難しく、今後、採用していく中で良い人がいればと、籍をおいて内定者を出すことも考えられる。他企業では希望者があれば行かせて、その結果、潜在能力がアップしたとの話も聞いていて、行かせられるものなら、この大学院に行かせたい。そのためにも、この数年の間に制度を立ち上げたい。東京にいる社員を福井に呼んでとんでもない時間が必要である。 5、6年の間に1名は派遣したい。そのような人材がいれば続けての派遣も可能。若手の中に有望な者がいれば挑戦させたい。挑戦は会社の活性化にも繋がることになる。 海外実地研修への期待について、会話が出来て、海外と対等にビジネスが出来るとなれば良い。社内に海外事業部を設けるので、そこに配属し、東南アジア、欧州での営業が出来れば、そんな人材の増強をと考えている。この大学院の 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②繊維土木資材の製造販売他 ③ドイツ、ベトナム

		<p>海外研修で経験を積ませ、元商社マンが海外営業をしているので、そこに同行させて育てていく。</p> <p>【具体の派遣計画の提示あり】</p>	
13	<p>企業 13</p>	<p>(5/23)</p> <ul style="list-style-type: none"> この大学院は、将来の幹部候補生の育成と言うことでは必要なプログラムだと考える。科目として必要なのは、アカウンティング、財務、統計学が入るとすごく良い。北米やヨーロッパで事業展開しており、エンジニア育成や経営幹部候補生として海外に送ることはある。派遣するのであれば、仕事を離れて専念させたい。学費は企業から見たら負担にならない。 当社では、エンジニアリングの能力がある程度あつてのマネジメントとなる。このプログラムは、工学部の学生こそやるべきである。海外経験は自社でやれば良いが、大学院での高度な経営・国際実務研修は良い。また、総合商社の中での実務経験は有りと有り難い。ユネスコでの雑用は雑用でなく、語学力もアップしないといけない。そのためには、仕事をしながらは無理である。 (10/17) 当社は、県内でも景気変動の影響が一番大きく受ける企業で、繁忙期は派遣できないが、閑散期は派遣できる。 海外にも進出しており、この構想に賛同で、社員を派遣したい。今は繁忙期が続いているが、来年、世界的にも設備投資が落ち着く見込みなので、2020年度なら派遣出来ると思う。 マネジメント系の人材育成は社内より外に出した方が良いと考えている。外部で経験を積んだ方が、シナジー効果が生まれる、追い詰められないと役に立たない。派遣するにしても、予定を決めて勉強しておいておいて、準備しておいてなら出せるが、資質があるか判断するのが大変である。 専門領域をベースに時間をかけてマネジメントを重ねて行く必要がある、マネジメントにはストレステル耐性が必要である。 派遣する場合、3年に1人出し、当面は2人ぐらいか。最初が2021年なら次は2024年という具合。 <p>【具体の派遣計画の提示あり】</p>	<p>①製造業 ②工作機械の製造、販売他 ③台湾、中国、イギリス、ドイツ、アメリカ、カナダ</p>
14	<p>企業 14</p>	<p>(7/24, 25)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに県大のビジネススクールに1名派遣し、中小企業大学の平成塾にも通わせている。平成塾などでは、ヒントを得たり、そこで出会った人達との人間関係も有り難いものになっている。 大学院への派遣には、会社での周り・チームでの支援が必要であり、また、希望者が居るかどうかもある。派遣するにしても、1名では不十分で、ベクトルを合わせるため、部門長クラスになる人材には全員行って貰いたいと考える。従業員には、開発、営業、製造の各部門を経験させるが、この中に大学院を修了した人間も居てくれればと思う、トップに確認した上で回答する。 社長に確認したところ、この大学院に賛同とのことであり、まずは、社長の息子を4、5年以内にこの大学院に入学させたい。また、開学決定後は、2020年開学に向けて子息以外の社員派遣についても、別途検討したい。 (10/23) 本構想の内容に関し、海外研修の形態、入学試験内容、派遣する年齢層等について改めて確認があった。社員の派遣について、出すとなれば他の院生の年齢に合わせる必要もあり、30歳代で、本社勤務か工場勤務の者になると思う。派遣に際しては、数年先を見越し、候補者を決めて段取りをして行く必要がある、見込み通りにいけば、派遣したい。 	<p>①製造業 ②事業所用品及び家庭用スチール製品の製造、販売他</p>

15	企業 15	<p>(7/25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年前までロシアの事業所で7年間勤務していた。当時上手くいかず、今は撤退したが、社長、専務ともに海外でのビジネスには思い入れがあり、この大学院についてはとても興味がある。 ・日常会話程度の英語を喋る社員は数名いるが、全員女性である。女性は結婚や出産等で職を離れる人もいて、出来れば長く働いてくれる男性でと思うが、英語力や意欲でレベルに達している人がいるかどうかがある。 ・現在、弊社での海外進出は上手くいっておらず、実現するためにこのようなことを学べる大学院は良いと思う。 ・自身がロシアに行った時、事前にこんな学びが出来れば全然違ったと思う。役員に確認の上、改めて回答する。 <p>(8/9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社の専務に本件を説明したところやはり大変興味を持った。具体的にいつ、何人と言ったことは予定が立たず、約束できないが、趣旨には賛同したく、是非お願いしたい。 <p>(11/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専務と相談した。趣旨には賛同できる。具体的には、現在、海外中期計画を作成しているが、それも含め、派遣は数年に1人と言うところかもしれない。経費的に、大学院の授業料は、1年間で研修に使う費用に相当すると思う。 <p>【具体の派遣計画の提示あり】</p>	<p>①卸売・小売 ②住宅関連総合コーポレート</p>
16	企業 16	<p>(7/24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は複数の海外拠点があり、この大学院で働きながら学べるのは魅力的である。 ・昨年からフィリピンでの社内語学研修を復活しているが、商社では海外でのマーケティングがとても重要であり、将来の幹部候補生に、このような大学院での学びは必要だと思っている。親会社では、社員の最低スキルとして三カ国語を話せることが必要としている。グローバルなマーケティングが出来るように、この大学院で力をつけたいと思う。 ・MBAはやっておらず、その理由は、実際に強い会社なので、日々の業務に直結しないと、社内で賛同が得られず、はつきり効果が出るものに投資をしようと言う考え方になっている。 ・福井は人手不足で、このような形で安定的な人材確保にも繋がれば良いと思う。商社では、リスクのある所で活躍出来る人材の育成、要は、条件の悪い所で切り盛りしていきける人材が必要となっている。このようなユニークなトライ、大学院構想について期待したい。 ・積極的に考えさせていただく。将来の幹部候補となる優秀な人材で意欲がある者の派遣を是非検討したい。 <p>(10/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意欲のある社員がいるか、また、現場の理解が得られるかも含め、社内で更に検討させて欲しい。弊社社員の7割は福井におり、海外現地駐在員は13名と現地スタッフである。駐在員は育つてなく、商社だが、社員の語学力は低い。 ・費用については、会社が指名する形なら会社負担、社員が手を上げる方法なら半々と言う考え方もある。 <p>(H31.2/8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹部候補生1、2名を、将来、この大学院に出したいとの構想を持っている。視野を広げ、グローバルな発想を持てば、更にステップアップすると期待している。 	<p>①卸売・小売 ②化学品・電子材料等の販売および輸出入 ③シンガポール、タイ、香港、インドネシア、フィリピン</p>
17	企業 17	<p>(5/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社長から、改めて本社の担当役員に説明に来るよう連絡あり。 <p>(5/17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、グローバル展開を検討して行く必要性があり、グローバルな視野での展開のために外国人8名も採用した。 	<p>①卸売・小売 ②ドラッグストア事業等 ③中国、上海</p>

18	企業 18	<p>・企業の成長には、お金・物件・人の成長は不可欠であって、企業の外で学ぶことが重要であり、2009年から国内のMBAに、仕事を休ませて社員を派遣している。</p> <p>・この大学院修了後の関わりはどのようなのか、MBAを修了した社員は餓えており、継続的に学べることができると良い。(10/25)</p> <p>・弊社の将来計画としては、現時点で、海外展開はないが、毎年1, 2名を、将来の幹部候補生として派遣したいと考えている。年齢でいうと35歳以上を想定しており、コンスタントに1, 2名、重なった形での派遣を予定している。</p> <p>・派遣する社員を今から仕込んで行きたい。教育内容は、企業に入ってから学びとしては、これで十分だと思う。</p> <p>【具体の派遣計画の提示あり】</p>	
19	企業 19	<p>(7/24)</p> <p>・食に関わる仕事であり、人口減少は事業に響いてくることから、海外にも目を向けている。正社員、パートを入れても20名の小さな会社であり、派遣するにしても、経費負担、勤務体系を考える必要がある。しかし、この大学院のことを社員に説明したら、2人は行きたいと言っていると、</p> <p>・出すなら2020年4月から出したい。年齢的にも30歳前であればよいと思う。居ない間の人員配置をどう考えるかが問題ではある。</p> <p>(10/23)</p> <p>・大学院に派遣するなら最初から派遣する。後は、その成果をみて次を派遣するかどうか決めたい。</p> <p>・商売上、海外を少し意識する必要があると考えている。前回訪問のあった後、社員に話をしたところ、本人はやる気満々であった。大学院に興味を持っている社員は、今、香港の県の商談会に行っている。店の名前を知って貰って、取引に繋がればと考えている。</p> <p>・海外研修先でビジネスに繋がることがあれば良い。研修先で関係者と知り合うことが出来るのか。研修プログラムとして、現地の市場調査があると良いが、ないからダメという訳ではない。社員教育の面で海外研修は良いと考えている。</p> <p>・海外の売り上げを伸ばしたい思いがあり、地域資源活用事業（ミラサボ）への申請を考えている。輸出以外に観光事業も考えたい。</p> <p>・社員教育にはお金をかけている。担当者が忙しくて県の研修を休もうかと言っていたので、今日は店を臨時休業にして行かせている。</p> <p>【具体の派遣計画の提示あり】</p>	<p>①卸売・小売</p> <p>②食品製造販売</p>
19	企業 19	<p>(7/24)</p> <p>・自分は学び直しの気持ちが強くて、色々試みたが、福井にこのような大学院が準備されることは幸せだと思ふ。</p> <p>・地方において勝ち残るため、学びとの繋がりを求めて行く必要があるが、ここでないと学べないと言ふ一点、尖らせる部分が必要ではないかと思ふ。この専門職大学院でないと駄目だと言ふ点も、まだよく見えない。</p> <p>・大学院に送る場合、送り出す人材に何を求めるのか、大学院で学び自分の可能性が見えた時に会社に戻って来るかとの懸念はある。しかし、平常時に限界を感じることもあり、このような場合は魅力がある。候補者を考えた場合、40歳代から2名ぐらいいい。海外の学生と日本の学生の志向は異なり、国により違いや差があることを知っておくべきである。</p>	<p>①卸売・小売</p> <p>②野菜等品種開発、農業用資材販売他</p>

20	企業 20	<p>(5/7)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年から東南アジアに進出予定だが、社員から手が上がらず、拠点構築担当者を外部から雇用した。業績好調で忙しく、社員教育の余裕がない。 <p>(8/8)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、東南アジアで事務所を立ち上げつつあり、経済特区の申請もしている。また、現地人のインターンシップ受入をしておき、上手く行けば、自社に就職してくれればと思っている。今回の立ち上げには、海外勤務経験者を採用し、向こうに送る予定をしているが、社内でそんな人材を育てられることはない。大学院に入るには、試験があるのだから、この大学院を使って人材育成が出来るなら、会社の方針にぴったりである。この構想は、うちの会社にマッチしており、後2、3年も経つと会社にも余裕が出来、1、2名は派遣できると思う。 出来れば、この大学院に参加させて貰えたらと非常に有りがたい。何人が候補を挙げ検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①卸売・小売 ②電子計測機器等の販売他 ③ファイリピン
21	企業 21	<p>(7/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> 弊社は全国展開しており、福井だけを対象にこのような大学院教育は難しいとも思うが、上司にも相談の上、改めて回答したい。 <p>(8/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初に入学に要する費用の確認があった。 会社での人材育成の悩みについて、日本人は欧米に行ったら、外国人に太刀打ちできず、溝をあけられている。語学力と、新しい考え方でビジネスに関し、大きな差がある。ビジネスでは相手を打ち負かさないとならず、そんな日本人が育てば良いと考えている。 この大学院構想は素晴らしいと思う、欲を言えば、人がやれないことを先導してやれる力、思考を持った人材をここで育成して欲しい。人が考えていないものを何がなんでもやると言う人間をどう育てて行ったら良いのかと考えている。 今後は、今の事業で国内で競争に打ち勝つか、海外でビジネスを展開するか、国内で新ビジネスを育成するしかない。ダイベーター力、論理性、新しい考え方が必要であり、ユネスコ、JICA 研修の効果はどのようなものかと思案していた。 この大学院に誰か是非行かせたいと思っており、前向きに検討する。 <p>(10/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本は物を作る、技術的なものを作ることは得手だが、財務を分析する、マーケティング力で海外に売り込める能力はすこく劣る。マーケティング力、企画力が外国に比べ劣っている。ここを徹底的に鍛える必要がある。物の優位性、付加価値を付けてどのように企画していくか、今後のグローバルのビジネスで重要であり、こんなことを教えて貰いたい。 日本は、物は良いので、後は売り方を考えること。そこで企画力、マーケティング力が重要になる。答えがないところから作り上げていく力が大事である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①卸売・小売 ②建設・エネルギー・IT 他 ③シンガポール
22	企業 22	<p>(7/26)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元にも国際性は必要であり、機会があれば社員を海外に出したいと思う。現在、フィリピン、マレーシア、ベトナム等に輸出し、アメリカには買い付けに行っており、海外との接触は増えている。 現在、英語の研修はやっているが、この大学院を通じ、海外で学んで来ると、一層能力を発揮できると思う。今後、韓国や台湾への輸出も増える見込みで、このような人材育成をもっと大学でやるべきであり、積極的に賛成する。自分の孫達も送り出したい。 現在の事業内容は、マーケティング、商社、ものづくりで、他に真似の出来ない物を作るのがポイントで、自分達にも技術力や交渉力が必要になっている。人間は切羽詰まらなさと成長できない。 この大学院の正式設置が決まれば、具体の派遣について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①卸売・小売 ②コーティング加工, 樹脂加工他 ③フィリピン, マレーシア, ベトナム, タイに輸出

23	企業 23	<p>(8/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に、必要な費用について確認があった。 ・弊社では人材育成委員会を10年前から置き、学習を進めて来ている、このため、30代の役職者もおり、この大学院構想は、その委員会で検討するのが合理的と考えるが、入学者選抜に耐えられるか不安を感じる。 ・弊社のIT拠点は東京で、従業員400名を越える中、その6、7割は東京で勤務しているが、この大学院は福井勤務者に限定される。大学院に通える人間が何人いるかの把握や、委員会での準備が必要で、社員の希望や費用についても確認する必要があるが、弊社には意欲の高い社員が多い。 ・将来の会社の見通しに関し、中国の下請けになるのではないかと懸念しており、現時点では、国際化への早急な対応は必要ではないが、中国での生産は単価が高く、一方、既に中国企業の下請けをしている企業も東京にはあるような状況であるため、今後、中国、韓国の留学生3名を受入れ予定である。 ・大学からは情報系の学生が入社してくるが、マネジメントの部分が必要になって来ており、この大学院は幹部社員が対象になり、新しいビジネスモデルを考えることの出来る人材育成が出来ればと思う。 ・弊社事業は、ゼロからシステムを作る仕事で、業務上、外国人との関わりもあるものの、専門用語もあって、日本語で用が足りているが、将来的に、中国の下請けも考えないと、中国語の学びも必要と考えている。この大学院構想は面白く、自身も学び直しが出来たらと思う。実際に派遣する際には、大学院へ通うことが出来るようなプロジェクトグループに入れるような配慮をしたいと思う。 ・AI, IoTは日進月歩で、将来、中国の下請けにはなりたくなく、そのためには、AIとかの狭い分野に限定されるのではなく、広い視野を持った人との連携が必要であり、専門技術は既に持っているので、明るく広いビジネスモデルを発想出来る必要があると思っている。自社では、文系学生も採用しており、文系学生は発想力を持っているので、面白く、数年経過すると文系学生の方が伸びている。そんな人材がこの大学院で育てば、会社も強くなり、福井発で強いビジネスモデルを作れると思う。 ・この構想に賛同する、5年以内に社員も大幅に増員する計画であり、2020年度から年1名ずつは派遣したい。当社では、SUICAやICOCAのチップを作成し、シェアは全国2位、この更なる活用方法で多面的な視野で見えて貰える人材が、今後、必要である。 <p>(10/26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望者がいれば毎年1名派遣する。今後、具体的に相談したいが、派遣に向け、社内の体制整備が必要になる。まず、社員から手を挙げて貰うことが必要である。次のステップとして、どの程度のスケジュール感を持った方がいいのか。 ・来春、留学生を3人採用する、将来的には中国の傘下になることが予想され、今は、中国から留学生が来ているが、その内に来なくなるのではないかと思う。全国的にも留学生は増えており、グローバルな視野が必要になってくると思う。 <p>【具体の派遣計画の提示あり】</p>	<p>①情報通信 ②各種システム導入のコンサルタント、各種パッケージシステムの開発他</p>
24	企業 24	<p>(7/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社社員の80%が技術職で、情報プログラムやプログラムの作成に喜びを感じる者の集まりである。ビジネスを分社化し3社体制で、デンマークのレゴとの取引や教育支援ロボットの開発にも関わっている。本体は技術家集団であるが、新しいビジネスの立ち上げを検討中で、それには海外も視野に入っており、それに携わる社員に海外のことを身に付けさせたいとの思いがある。身近でそのようなことが学べる機会があることは、社会人にとって良いことである。 ・今は70代まで働く時代であり、大学院へ派遣する社員は50代も考えられ、第2の人生に向けてのキャリアアップを目的に派遣し、再就職を支援できるのも良いのではないかと思う。 	<p>①情報通信 ②情報システム開発・構築他 ③デンマークと取引</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことが好きな社員が多く、このような学びの場が出来ることは良い。東京には学ぶ機会も多いが、地方は少なく、福井にこのような大学院が出来ることは良いと思う。働き方改革の一環にもなる。 (10/22) ・授業形態、開講曜日、受講間隔、休学の可否、海外研修の翌年実習の可否、大学院派遣の年代層について確認があった。 (11/15) ・本構想は弊社の社長にも説明し、積極的に参加することを確認済みである。具体的な日程、費用など決まったところで社内での推薦・募集、また費用の補助の在り方等を検討することになっている。勉強が好きな社員は沢山いるので、派遣出来るかと考えている。 	
25	<p>企業 25</p>	<p>(8/3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に、費用及び入学資格について確認があった。 ・大学院派遣に関し、この会社の後継者として、2025年度に1人派遣したい。また、社員の中でも、有望な者の派遣も、本人に意欲があれば、別に検討したい。費用についても、教育費としては問題ない額だと思ふ。このような大学院で学ぶことは、中小企業でも必要だと思ふ。 <p>[具体の派遣計画の提示あり]</p>	<p>①情報通信 ②パッケージソフトの開発 発・販売他</p>
26	<p>企業 26</p>	<p>(8/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に県立大学からも院生派遣の話があったが、出さなかった。会社全体として、大学院に社員を派遣することに理解を得られるか、また、大学院修了後、何をさせるかとなる。 ・派遣する社員について、一番は私（副社長）だが、2年後には代替わりする。その時に会社を空けるわけにはいかない。 ・弊社は建材を扱っているが、海外展開に全く関係ない訳ではなく、四国の企業で海外に進出しているところもある。今後10年位は、ローカルでやっていけるが、その後どうするかがある。この大学院設置の趣旨は良く理解出来る、会社の長期的戦略の中で、将来の幹部候補生の育成のため数年に1人派遣することは検討できる。また、院生同士の繋がりができることは良いと思ふ。 	<p>①建設業 ②建材・仕設機器卸他</p>
27	<p>企業 27</p>	<p>(7/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから、特に日本人は学ぶ時間が少なく、学びたい社員がいれば、応援したいのが自身の考えである。現状でも、技術系の学びは県内で、マネジメント系の学びは東京や大阪に行かせている。幹部研修も含め、年間相当額を社内研修に費やしており、大学院に係るこの程度の費用負担は問題ない。 ・人材確保が国内ではなかなか困難で、既にベトナム人1人を採用し、今後も採用予定である。将来、海外で働きたいと考える社員がいて、今、英語を勉強しており、会社が支援している。社員のチャレンジを応援したく、そんな中、今回の大学院構想に非常に興味を持った。 ・この大学院で働きながら学ぶことについて、本人の頑張りと次第であるが、会社として、協力出来ることは協力する。現在、大学院に派遣出来るような意欲のある候補者は3人おり、場合によっては、自分が行きたい。マネジメントリーダーの育成は必要であり、このままでは日本人学生は外国人留学生との競争に負けると思うので、この大学院で国際的視野で学んで貰いたい。是非、ここに書かれているような能力を身に付けて貰いたい。 	<p>①建設業 ②法面保護工事、一般土木工事</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業の世界にいますと、営業は受注のことばかり考えてしまう。これから先、AIと外国人の流入で、日本人の働く場所がなくなることが懸念され、地元でこれをやって貰えるのは有り難い。是非実現して欲しい。 ・派遣候補は4人だが、いつ、どのように派遣するかは、大学側と相談したい。(10/26) ・(入学資格について確認) 毎年1人でも2人でも出したい。候補と考えている者3名ともが行きたいと言った、楽しみである。参加企業が多いのも嬉しい、絶対に良い経験になると思う。 ・今の時代、人間力、価値を形成していかないとダメだと思う、世の中の課題に対して何が出来るか。建設業だけでは寂しく、グローバル人材を育てないと、福井県は置いて行かれてしまう。そうならないようせめて自分の所から始めたい。 	
28	<p>企業 28</p>	<p>[具体の派遣計画の提示あり]</p> <p>(7/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的には海外展開を考えている、この大学院構想は面白く、自分が行きたいくらいである。 ・会社では、資格取得を奨励し、取れば手当を支給しており、社員は退社時間後に努力し、その意欲は高い。 ・海外実地研修場所はアジアだと有り難い。この機械は台湾、韓国に広がっていて、今は、海外に機械の運営で進出しており、大手メーカーからは、機械販売とメンテナンスで一緒に進出してくれと言われている。当初は国内から機械を持って行くが、将来的には、現地での生産を考えている。 ・大学院への派遣については喜んで協力させて貰う。社員が手を上げてくれないような時には、推薦という形にしたい。将来的には海外展開したいので、それを睨んで現地に行ってくれる営業職をイメージしている。(10/29) ・最近、弊社システムへの問合せ多く、既に海外に進出しているこの業界最大手からは、一緒に誘われているが、足元を固めている状態である。海外展開は、将来を見据えて社員を大学院に派遣したい。 ・海外研修への要望について、広げていくかというように実地の研修が出来ると思う。台湾やアジアが中心になると思う。そのため不動産をどう借りて、広げていくかというように実地の研修が出来ると思う。将来、海外展開するために、台湾や韓国でビジネス感覚を身に付けてほしい。現地の商慣習が学べると思う。タイや中国は、まだ進出する環境ではない。 ・派遣する社員について、こういった経験を積ませて、現地法人を立ち上げたいと考えれば候補は30代の社員かと思う。まずは1人派遣し、その後相談させて貰いたい。 <p>[具体の派遣計画の提示あり]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①その他 ②駐車場システムの設計・施工、不動産管理業務他 ③台湾、韓国
29	<p>企業 29</p>	<p>(7/24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国に製造拠点があるが、撤退する予定。それ以外では、2年位、中国で技術提携し、ロイヤリティーを得ているが、今後は、技術提携が主流になっていくと思う。 ・MBAに派遣する必要はない。企業にとって魅力のある技術を持つことが一番で、それがないと海外との取引は出来ず、今後は、海外との取引なしには考えられない。 ・社員の採用は技術職が中心で、事務系の採用はしていない。この大学院については、人材養成の実績を見て、派遣するかどうか検討したいが、中小企業にとって、このような大学院のニーズはあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②表面処理加工業、眼鏡の販売 ③中国

30	企業 30	<p>(7/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年9月までに、ジェネリック医薬品の使用割合を80%にする政府目標がある。弊社は、今は順調に伸びているが、先が見えており、海外進出を考えている。 ・従業員は、製造部門400名、開発部門100名、管理・営業部門150名であり、社内研修は、現在、新入社員研修、役員研修を行っており、階層別研修を増やしたいと考えている。海外進出を考える上で、語学力が豊かな人材は必要であり、この大学院でそのような人材育成が出来るなら考えてみたい。ただし、後の体制をどう考えるかの課題はある。 <p>(7/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今すぐという訳ではなく、今後、海外事業を拡大することになった時、若手を育てる手段としてこの大学院に派遣することを検討したい。 	<p>①製造業 ②医薬品の研究開発、製造、販売</p>
31	企業 31	<p>(5/12, 5/21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人が希望すれば良いが、2年間大学院に通えとは強制できない。この専門職大学院設置は賛成だが、ここに行っただけで幹部候補にするとはいえず、その後にどれだけ頑張ったかと言うことになる。 ・社員派遣の約束は現時点で出来ないが、状況に応じて、派遣を検討したい。 	<p>①製造業 ②染色加工事業、資材事業 他 ③中国、上海</p>
32	企業 32	<p>(7/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント能力の勉強は立場が上になるほど必要だと考えており、このように学べる機会があるのは良いと思う。自分自身はとて興味があるが、社内に意欲がある人がどの程度いるかは不明。また、海外研修で何週間か会社を空けることへの対応の検討が必要である。 ・現在の研修状況は、他企業で行っている研修参加、新人研修や中途採用の社員研修、管理職研修等を行っており、この大学院については、費用の面も含めて、会社としての扱いを考えなければならず、会社として派遣させるならば費用は会社持ちになるだろう。 ・当社製品は輸送費がかかるため海外への直接販売はしていない。海外での販売を考えると現地で作ってその国で販売と言うことになり、現時点で海外展開の予定はないが、グローバルな視野を持つことは今後のことも考えとても重要だと考えている。改めて回答したい。 <p>(8/6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内での検討結果、この大学院については賛同だが、院生派遣について、現時点で派遣時期など具体的な回答は難しい。 	<p>①製造業 ②産業用プラスチック資材の製造・販売他</p>
33	企業 33 <県外>	<p>(7/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外には8ヶ国に60名程度が赴任し、ローテーションで、3年程度で戻している。事業の50%以上は海外向けであり、海外とは切っても切れない。 ・新人研修として、毎年選抜して数人、フィリピンに短期語学留学に出している。また、海外トレーニー制度を設け、半年から1年程度、海外拠点で語学と実務を学ぶ研修を行っている。 ・最近では海外に興味がある若い人が少なく、就職活動でも海外赴任がない方が多いとの学生も多く、学生の趣向が変わってきているように感じる。今までは海外で働ける機会が多いことをアピールしていたが、逆にマイナスイメージもある。海外トレーニー制度もなかなか手が挙がらず会社から指名するよう状況にあるが、このような大学院で学ぶことは良いことだと思ふ。 ・今後、社内教育カリキュラムを1年かけて見直し予定であるため、すぐに大学院に派遣するとは言えないが、設置準備状況の情報を貰えれば、検討の中に入れて行きたい。会社から近くの大学でもあるので、出来る限りの協力をしたい。 	<p>①製造業 ②二輪車、四輪車部品等の製造・販売 ③中国、タイ、ベトナム、インドネシア、インド、マレーシア、フィリピン、アメリカ、イタリア</p>

34	企業 34	(8/1) <ul style="list-style-type: none"> この大学院を通じ、異業種と関わられるのは有意義である。 今すぐの海外事業展開はないが、いずれそうなると思う。その際の人材育成について、こういった大学院で学べるのは良いことである。大学院が設置され、修了生が出てきたとき、この大学院への派遣について具体的に考えられると思う。 	①製造業 ②合成樹脂、化学品の製造 ・販売
35	企業 35	(8/21) <ul style="list-style-type: none"> 弊社は染色加工メーカーで、20 年位前に上海、香港に進出したが、5、6 年前に上海から、昨年に香港から撤退した。海外では手掛けられない付加価値の高い製品作りに国内で取り組んでいる。メーカーからの委託加工が中心であり、海外との直接的な接点はなく、メーカーや商社が間に入って企業展開している。 この大学院の内容は面白く、楽しそうで、私自身（常務）が入りたい。現在、会社負担で社員を派遣する人事制度がなく、社内研修制度もない状況で、この大学院に社員を派遣するには、先ず人事制度を整備する必要がある。 派遣については、検討してみたい、派遣するなら研究開発部の人間かなと思うが、非常に忙しく、さらに夜間・土日に大学院に行けとは、なかなか言いにくい。 人材としては、顧客が何を望んでいるか分かるよう、コミュニケーション力を持つ人材が必要と考えている。 	①製造業 ②織布、染色加工他
36	企業 36	(7/23) <ul style="list-style-type: none"> これだけの内容を2年間、土日だけの講義で身につくか、かなり大変であり、実践教育を2年で出来るとは思えない。授業料など2年間の費用を会社が負担して、修了後、会社に残らなかったらどうするかという問題はあまる。 大学院に派遣するには人員に余裕がないと出せない。社員を派遣するよりは、大学院を修了した院生を採用する考えの方が強いが、この大学院は人間の総合力を高める大学院だと思う。自分の時代にこんな大学院があれば進学したかった。 経営層の人材育成を考えるとき、知識より胆力が大事で、どうやってこれを鍛えるかにかかっている、そのためには実践教育が早い。人的余裕があれば大学院に派遣したい、候補となる社員にも聞いてみて、自分の考えも入れた上で返事をしたい。また、どういう形でなら派遣できるか、社内で相談したい。 (8/30) <ul style="list-style-type: none"> 人的余裕がなく、現時点での派遣は難しいが、今後、状況を見て検討する。 	①卸売・小売 ②省力・省エネ設備の設計制作、工業計測器機器等の販売他
37	企業 37	(5/21) <ul style="list-style-type: none"> 社員研修は、外部講師と社内OJTを中心に行っている。商売は国内が主で、タイに子会社があるが、日系企業が対象となっている。現時点で、弊社から大学院に派遣出来るような人材はいないが、この大学院を通じ、人としての幅は広がると思う。 (7/17) <ul style="list-style-type: none"> 現状では、大学院に派遣出来るような人材は地元の福井におらず、東京支社等にいる。大学院開設後、他社の参加状況を見て、派遣を検討したい。 	①卸売・小売 ②工業計測機器・電子制御機器の販売 ③タイ
38	企業 38	(5/15) <ul style="list-style-type: none"> 弊社は経営品質活動に取り組み、経営の革新とそための学習に取り組んでいる。過去の経営学は殆ど役に立たない時代であり、実務家教員にどのような顔ぶれを揃えるかが大学院の決め手になると思う。社会人への教育に関し、英語の実践教育と経営の実践・省察プログラムが必要であり、マネジメントに関して英語で授業が出来る人材、外国での企業経営体験のある人材を揃えて欲しい。 	①卸売・小売 ②各種情報機器等の販売他

		(7/25) <ul style="list-style-type: none"> 海外企業での最低3ヶ月間のインターンシップ体験が必要と考えている。 社内に候補者はいるので、今後、状況をみて、大学院への派遣について検討したい。 	
39	企業 39	(7/30) <ul style="list-style-type: none"> プラスチック製造と繊維商社の二つが弊社の事業内容。職種に関わらず採用後、4～8月にもものづくりの現場での研修を行った後、各部署に配属している。 海外関係では、米国やEUが対象となるが、営業のための出張がベースであり、他のものづくり企業のような海外展開のイメージはない。 趣旨は了解したが、このカリキュラムを活かせるような海外展望は現時点ではなく、そのような展望が開ければ派遣出来ると思う。派遣についての具体の回答には時間が必要である。 	①卸売・小売 ②繊維関連商品、合成樹脂原料等販売 ③アメリカ、EUへの輸出
40	企業 40	(7/30) <ul style="list-style-type: none"> 弊社の事業対象は国内で、特に福井県である。直接海外との取引はなく、あっても間接的である。 人材育成は体系的に出来ておらず、研修は建築関連が主である。オーナー企業なので、その息がこの大学院に入学と言うのは考えられるが、本日は社長が不在で、改めて回答する。 具体の入学確約までは出来ないが、後継者の育成手段の一つとして前向きに検討する。 	①卸売・小売 ②建築用金属製品の販売他
41	企業 41	(8/1) <ul style="list-style-type: none"> 社内で技術研修はしている。社員にプロジェクトマネジメントのスキルはなく、この大学院で学ばせたい気持ちはある。ただし、今は人手不足の状況にある。 今後、海外でのオフショア開発や宇宙ビジネスでの海外展開を考える上でタイミングが合えば、この本大学院への派遣について検討する。現時点で、派遣時期的なことについては分からない。 	①情報通信 ②コンピュータ及び関連機器の販促企画・販売他
42	企業 42 <県外>	(7/7) (大学院構想について説明) (7/28) <ul style="list-style-type: none"> この構想は面白い取り組みだと思う。私自身、社会人になってから学びの場があればと思うので、積極的に考えたいと思っている。しかし、弊社のような小さな会社にとって、費用をかけて、人を学びに出すということは、非常に大きな投資になり、ましてや創業から2年半ほどで、取り組みたい課題が山積みの会社であるため、弊社から学びの材料を出すというのは、まだ少し先の話になると思う。また、大学院に係る費用に関しても、「費用対効果」を明確にする必要があると思う。 	①情報通信 ②システム開発、Webサイト製作他
43	企業 43	(8/29) <ul style="list-style-type: none"> 弊社は、情報系と原発の工事・設備メンテを大きな二つの柱としている。国内がメインで事業展開しており、近隣県のシェアを開拓している。二本柱以外では、全国を対象とした商社機能がある。 この専門職大学院はレベルが高く、今の弊社の社員のレベルに見合っていないと感じた。ただ、将来的に検討して、良 	①建設業 ②プラントと関連施設の運転、情報システム関連製品の開発・販売他

		い人材が出て来たら、是非参加させて貰いたい。国内ではシェアの奪い合いが生じており、今後、海外を視野に入れての展開の可能性は十分にあると思うが、今はその一歩手前の状況と言える。 ・現在、社員の研修には外部講師、産業能率大学や中小企業産業大学院を利用しており、余裕が出て来れば、この大学院を活用し、社員のレベルを一段階上上げて行きたいと思う。	
44	企業 44	(7/20) ・従業員は国内に300人、海外に2500人程度がいるが、それをマネジメントできる人材はおらず、育っていない。毎年、大卒が5、6人入社し、TOEIC800点も数人居る。会社の方針は、グローバル化に対応できる人材を育てることで、そのために英会話教室から講師に来てもらい、語学学習にも力を入れ、新入社員は2週間中国に海外研修に出している。 ・クライアントがグローバル化してきており、メールも英語。県のアジア人材基金のトビタテにも参加している。中国、ベトナム、香港、米に事業所があり、グローバル化に対応できる人材を育てたいが、上手く行かない。 ・ビジネスモデルは、日本で受注、中国で大量生産（生産拠点）であるが、訴訟も多い。もう日本での商売は難しく、海外に出て、国内は縮小せざるを得ない。 ・創業後、長い、人の教育をして来ておらず、次の後継者、管理職等育成に手を尽くしている。(8/1) ・この大学院構想は良いと思うが、現時点での社員の派遣は難しい。	①製造業 ②ニット生地・製造・販売 ③中国、香港、ベトナム、アメリカ
45	企業 45 (組合)	(5/25) ・国内の宿泊客は減少傾向にあり、北陸新幹線開業前の水準に戻っていて、インバウンドの取り込みが必須の課題となっている。ただし、社員が現地に行ってセールすることまではしておらず、旅行会社任せになっていて、将来的には、現地に持って行ってセールが必要があると思う。後継者の中にはインバウンド対策、インターネットを使ったPRに取り組む者もいる。 ・観光に関するスペシャリストは重要であり、できれば市がそのような職員の育成をして欲しい。 ・この大学院の必要性は理解するが、最終的に大学院に派遣するかどうかは、組合でなく旅館個々の判断になる。今のトップ世代の交代期に学び直しと言う点でこの大学院へという可能性もあり、各組合員には本構想を案内しておく。	①サービス業 ②旅館、ホテル
46	企業 46	(8/28) ・昔は研修のために1年間メーカーや工業技術センターに社員を出したりしていたが、今は人手不足で社内研修はあまり実施していない。 ・大学院派遣については適当な人材が思い浮かばない。海外進出については今のところ考えていない。 ・世代交代を考えている企業であれば規模が小さい会社でもこのような大学院で後継者を勉強させたいと思う。県外の大学院に行ってもそのまま帰って来ない人も多いので、地元でこのように学べるのはコスト的にも時間的にもメリットがあり、有り難い。後継者育成のためであれば、大学院派遣に係る費用負担についても厭わないだろう。	①製造業 ②合繊織物製造・販売
47	企業 47	(3/1) ・品質管理や製造工程に関し、この大学院を通じての異業種交流のメリットがあると思う。設置に向けて協力したい。(4/25) ・派遣については現段階では回答できない。現在、人事制度の見直しを推進中で、階層別から技能別の研修への変更も検	①製造業 ②オーディオ機器等の開発・設計・製造他 ③中国、タイ、ポーランド、

		<p>討しており、外部の専門学校で学ぶことができれば理想。本年4月から明治大学大学院夜間で学ぶ従業員もいるが、派遣する場合は、人事制度も検討して行く必要がある。</p> <p>(7/13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーカーなので優先されるのは技能的なことになる。マネジメントの内容の大学院は社内です話を進めにくい。時間的にも経費的にもそこまでの余裕がなくなってきた。現状は厳しい。 	アメリカ
48	企業 48	<p>(H31.1/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、シリコン・ウェーハ加工での光通信用部品基板としては世界シェア約80%を占めており、台湾に子会社もあるが、製造は福井の本社で全て行っている。 ・社員数は全体で45名程度、福井の従業員数が38名程度。育成したいのは製造部門の若手社員であり、希望者がいれば行かせたいと思うが、従業員数が少なく人手も足りていないため現状では派遣は厳しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②光通信用シリコン・ウェーハの成膜加工 ③台湾
49	企業 49	<p>(7/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は、企業間取引が主であるが、今後、小売りに出る可能性はある。海外は中国に工場があり、大きなマーケットとして考えている。これからの事業展開の中でタイミングが合えば、人材育成の点でこの大学院は面白いかもしれない。 (8/30) ・役員と相談したが、予算的、人間的に余裕がないため、派遣は難しい。特に、海外研修で社員が1ヶ月居なくなるのは困る、その間の体制が取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②ホームファッション商品の企画・製造・販売 ③中国
50	企業 50	<p>(8/2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明後、入試方法、受験資格についての確認があった。 ・社員に専門学校卒、高卒がいる、一生懸命やり、考える力も十分にあるので、将来、見込みのある人間にこの大学院を受けさせてやりたいと思う。対象者が1,2名いるので、話しをしてみれば、仮に派遣するとしたら、大学院立ち上げの時間が良いような気がするが、まずは、本人達がやってみようという気になるかどうかである。 ・また、この大学院は、異業種も含めた人脈作りに良く、修了生同士のネットワークは非常に有効だと思う。 ・弊社の海外との関係は、商社を通じた製品輸出で、必要な情報は商社や顧客から貰っているところであり、来週末までに回答する。 (8/3) ・派遣したい社員と相談したが、本人にやる気がないため、残念ながら今回は見送ることとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ①卸売・小売 ②テキスタイル全般並びに繊維製品の製造・販売 ③商社を通じた製品輸出
51	企業 51	<p>(8/23)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(冒頭に授業料について確認)面白い構想なので、役員に説明しようと思う。教育内容がしっかりしているので、将来、管理職にしようと考えてるような社員でないと、派遣できないと思う。本人の負担もあるだろうし、人選が難しい感じがする、例えば、30歳代の社員で、将来、部長になって貰うために考えた場合、その人選が難しい。経営的なことを学び、経営者を育てるためにこの大学院は良いと思うが、人選から外れた者からは、ねたみも出て来る恐れがあり、本当に意欲のある者がいれば良いのだが。 ・海外進出に関し、中国に関連企業があり、将来的な方針は明確ではないが、今後、韓国や台湾での営業も考えており、 	<ul style="list-style-type: none"> ①卸売・小売 ②防草緑化用資材の企画・販売他 ③中国

		<p>現在は、採用した中国人1名が海外営業をやり出したばかりの状況にある。本件は役員に上げて検討したい。(10/24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では人選が難しく、そこから外れた人のモチベーションの問題もある。是非行かせたい人材という具体案がある訳でもない、とにかく、現段階でいっごころ派遣できるという話ではない。 ・今後、海外進出に力を入れるとすることであれば、この大学院も視野に入ってくる。将来的に人材育成の体制も考えながら、必要性が出てくれば考える。 	
52	<p>企業 52</p>	<p>(8/8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人がまざりていきたいか、本人が自身の分野を広げたいか、本人がやりたいか、会社も応援する必要があると思う。この大学院が弊社に役立つかという点について、新事業をやるとしたら、その人材育成のためにこの大学院で見聞を広めると言うのはあるかもしれないが、自分が今の業務を担当しているのに、ここに行けとなると、本人がどう思うかがある。英語力も必要だが、例えば、パリで勤務している人間は、英語もクリアしており、ここで学ぶ以上に海外のことを知っている。また、ジェトロから転職した者は、アメリカの拠点のトップにいる。 ・意欲がある者がこの大学院に行ったら役に立つと思う、本人がやりたいと言ったら、会社も応援する必要があると思う。この案件は役員会にかけなければならないが、1、2名そんな人材を育てていこうとなれば、今後のことを考えて行く人材を経営企画室に入れ、その人間がこの大学院に行くようなことになる。そのような見極めが必要で、金額の問題ではない。 ・教育に関して、語学は良いが、海外での会社の立ち上げやマネジメントは会社でやっており、それ以外のことでどうか。大学院に出した時、修了後暫くは良いが、いつの間にか、周りと一緒になくなってしまふ。取った単位を活かせるような持続的な保証を考えるとやらないといけない。色んな業種が集まるとまとまりが難しいのではないか。 ・しかし、このような大学院の立ち上げは大事だし面白い、会社もこれにお金を出すことも問題ないが、本人達がこの大学院に行きたいかどうか、2、3人に聞いてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②細幅繊維製品等の製造・販売、産業資材事業他 ③中国、香港、ベトナム、イタリヤ、ドイツ、フランス、アメリカ
53	<p>企業 53</p>	<p>(3/28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職だから、もっと専門性に特化が必要、この内容では一般的すぎる。このやり方でどれくらい育つか。海外研修が目的なら自社内で出来る。学ぶなら、海外諸国での文化、習慣や仕事のやり方の違い等で、このカリキュラムでプラスになるのか。教える側も実務をちゃんと分かっている必要がある。 ・弊社ではそんな感じだが、他の中小企業からはこの大学院へのニーズがあると思う。何しろ、県内の8割が経営計画を持っている。こんなカリキュラムが出来れば良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②総合繊維業 ③インド、インドネシア、タイ、中国、フランス、イタリヤ、アメリカ、メキシコ、ブラジル
54	<p>企業 54</p>	<p>(8/2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、中国に進出しているが、中国の基準が厳しく、中国の委託先に十分な技術がないことから、状況が良くなる、アセア展開などの可能性は現在のところない。このことから、国内で捉え切れていない市場開拓が先だろうとの内向きになって来ている。 ・弊社の製品の製造は、細かい手作業部分もあり、他に任せるのも難しい。この大学院について検討したいと思うが、生産系の社員が多く、将来、経営に携わる人間と云うのがぱつと思いつかない。 ・研修は色々行っているが、この大学院なら若手が良いようにも思う。また、大学院での異業種の情報交換にも有益だと思う。派遣候補者として、社長の後継者が適任と考えられ、一度、社長にも相談し、改めて連絡する。 <p>(8/2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社長に趣旨を説明し、該当者を検討したが、現時点では該当者なしとの結論に至った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②住宅商品の開発、製造、販売 ③中国

55	企業 55	<p>(H31.2/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成は、各種団体がしているセミナーへの参加など、必要に応じて研修している。 ・大学院への社員の派遣については、会社として社員を大学院に行かせるような体制整備が出来るかと言うことがあり、社員が大学院に行きたいと言うことが大事になる。この内容は高いハードルは高いように思うが、協力はする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業 ②高級眼鏡フレームの製造販売 ③スイス、マレーシア、香港、アメリカ
56	企業 56	<p>(8/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に、派遣資格、履修方法、費用等を確認。 ・実社会に出た者に対する教育として、非常に良い話であり、この構想に賛同する、派遣候補となる社員も浮かぶが、本人の意向も確認する必要があり、すぐに具体の回答と言われると困るが、社内で検討してみたい。 <p>(10/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内での検討の結果、今回は見送ることとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ①建設業 ②防水・塗装工事、建材の開発・販売・施工他
<p>上記の企業以外に、企業 27 社（製造業 18 社、卸売・小売 2 社、情報通信 1 社、建設業 3 社、運輸 2 社、検査・分析 1 社）と個別折衝を行ったが、派遣不可との回答であった。主な理由は、派遣する余裕が全くない、海外進出の予定がない、会社方針と合わない等であった。</p>			

(白 紙 ペ ー ジ)

大学院への職員派遣に係る個別折衝状況（自治体）

（注：自治体名欄の黄色マーカー表示は、院生派遣予定の自治体、無地は構想に賛同だが現時点で回答が得られなかった自治体を、それぞれ示す。）

No.	自治体名	個別折衝の状況	備考
1	自治体 1	<p>〔(日付)は、当該自治体との個別折衝日〕</p> <p>(10/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の大学院派遣について、2020年度派遣に向けて次により検討を進める旨の回答があった。 ・職員研修制度のメニューに「福井大学大学院派遣」を追加し、庁内公募を行う。 ・派遣決定した職員に対し、大学院での修学との両立が図られやすい部署への配属（国外研修等により一定期間、業務に従事できない期間があることを前提）、学費の支援、修了後は国際関係業務に従事する人事ローテーションの検討等の対応を行う。 ・庁内公募で自発的な希望者がいない場合、国際関連業務に関心を持つ、または適正ありと見込まれる職員に対して、制度紹介等を行う。 <p>(10/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この大学院の趣旨は理解している。ただ、今までとの違いは、授業が平日夜と土曜にあり、通常の業務にプラスαになることで、職員の負担は大きく、相当の意欲が必要である。公募するにしても政策的にどうかするかすか高いが、早急に検討する。 <p style="color: blue; text-align: center;">[具体の派遣計画の提示あり]</p>	
2	自治体 2	<p>(5/8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズとしては語学がある。外国人で市を訪れる人もそれなりに多いことから、市の産業として観光を位置付けており、それを担当する職員を置く必要がある。現在職員をパリに派遣しているが、これは「自治体国際化協会」に派遣中の職員が、同協会・パリ事務所勤務し、観光、物産、行政制度等様々な情報の収集や提供等に携わることによって国際感覚や国際的人脈の形成を図るとともに、本市の情報についても情報発信している。市の財政状況や派遣した後の態勢を検討しなければならぬが、毎年は無理かもしれないが、1名程度の派遣は可能である。 <p>(11/2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良い取り組みだと思う。働きながら学べるのはありがたい。1年短縮履修等はどうか。 ・院生の2年次の動きは、海外にどこへ行くかによって変わるのか。 ・ターゲットにする年代をどうするか検討する必要がある。良い人材を出したい。企業だとある程度明確な目的があるかもしれないが、我々にはそれが、インバウンドであるとしても、その職員にずっとそれを担当させる訳にはいかない。グローバル化に関心のある職員、現在の仕事に関係のある職員が適当かもしれない。 ・費用の中で、大学と市は連携協定も締結しており、一部減免はできないか。（今後の検討課題とした。） <p style="color: blue; text-align: center;">[具体の派遣計画の提示あり]</p>	外国人住民数 4,185名

3	自治体 3	<p>(4/13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国人が増加し、インバウンド対応が増加しているが、職員が窓口で英語を話せず、コミュニケーションが取れない。大学院での学びは職員研修の一貫で対応可能かと思う、このような人材は必要だと思うが、希望者がどれ位いるかはある。優秀な人材が大学院に行くのは励みになると思う。 ・教育方法に配慮願ひ、大学院に行きながらも、職員が通常の戦力として使えるのであれば、派遣は可能である。海外研修に係る実費の支援等の条件整備は必要だろうか。 <p>(10/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望者がいれば派遣したい、こちらから行けとは言えないが、希望者はいると思う。授業が平日夜間と土曜日だと負担にはなるが、職専免をかける方法もある。職員が手を上げれば、派遣に係る費用はそれほどではない。 ・英語教育とマネジメントは大事だと、企業からは言われている。5年間で2人位は出せる。2年派遣したら、また2年派遣すると思う感じか。本人は大変かもしれないが、誰もがこのような大学院を待っていたのだと思う。 <p>[具体の派遣計画の提示あり]</p>	外国人住民数 855名
4	自治体 4	<p>(5/10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井大学でこのような人材育成を行うのは非常に良いことだと思う。インバウンド等に関わる専門人材育成のニーズは特に高い。 ・仕事をしながら大学院で学ぶことは大変だと思うが、本人のやる気の問題と考える。当市では技術系の専門職が不足しており、事務系ではどこまで専門性が必要かどうかあり、専門職の育成方法も検討している。大学院に出す場合には、人事制度や財政的支援等の検討も必要であるが、この大学院でこのような経験を積むことは必要だと思う。 <p>(11/6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(他の自治体からの派遣予定、費用、修学時間帯等について確認) ・行きたいという職員がいるかどうか調査する必要がある。 ・これからは英語力、観光、インバウンドに関する知識を持った人材が必要である。大学院での専門の講師陣はどのようなものか。 ・費用について、海外研修に関しては自己負担になるかもしれない。派遣する職員について、あまり若いのはどうかと思う。職員はローテートするし、派遣対象は30歳過ぎか。専門職としてこのようなものを身に付けておくのが良いと思う。普段、英語は使わないが、今後、必要だと思う。毎年の派遣は無理と思うが、隔年では派遣したい。 <p>[具体の派遣計画の提示あり]</p>	外国人住民数 1,385名
5	自治体 5	<p>(5/18)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別途、学長からも話しを聞いており、一ヶ月の海外派遣は難しいかもしれないが、検討し、誰かを出したい。これまでに職員を海外研修に出す機会があったが、帰って来たら、非常にやる気になった。言葉が通じないのはかなり辛い、他の外国語も学べるが良い。国際港湾都市であり、英語能力は必要で、授業以外での交流も出来ると良い。 ・良い取組だと思う、一人派遣して、また入れ替えて一人派遣出来ればと思う。当市は、福井大学のキャンパスから遠く、当市の近隣のキャンパスでも授業を受けられるよう配慮願えることも良いが、院生が集まる文京キャンパスまで行った方が良いと思う。 <p>(11/7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画政策部から、2020年度1名に始まり、隔年毎に1名派遣したいとの電話連絡があった。 <p>[具体の派遣計画の提示あり]</p>	外国人住民数 811名

6	<p>自治体 6</p> <p>(8/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成に関し、現在、京都の大学の大学院に職員を派遣中である。職員に希望を聞き、希望者がいれば、積極的に行かせるようにしており、若いうちの学びを重視している。福井県にこのような大学院が来て、その成果を仕事に活かすことが出来れば、有り難く、希望者がいれば、是非行かせたい。ただ、キャンパスまでの距離的なことがあり、本人にやる気がない限り難しいと思うが、週2、3回なら、何とか可能であろうし、学びたい職員は行かせたい。 ・今の自治体経営は難しく、新しい発想を入れて行かないと生き残れない。そういう考えで他の大学院に派遣しており、抜けた穴埋めは大変であるが、学んだことを返してあげたい。 ・海外との交流に関し、3市と友好都市、姉妹都市等の関係を持っているが、インバウンドに関し、福井県は非常に弱く、幸い、当市は増加しているが、語学や観光ノウハウは重要と考えている。そのために広く人材確保が必要と考え、職員採用時の年齢制限も撤廃したところである、今の市の職員が、この専門職大学院で学んで、市に戻り、役に立ってくれることが最も良く、この大学院設置は非常に有り難い。 ・当市では、第3セクターで「観光局」(観光を軸に地域活性化を目指す組織)を立ち上げているが、活動には色んな知識が必要であり、その意味でもこの大学院は重要と考えている。北陸新幹線の延伸時に、どうやってこの地にきて貰うかも大きな課題である。このカリキュラムは面白く、このような海外研修も含めた2年間の学びで視野が広がり、広い視野で新しいことをどんどんやっていく政策立案能力は重要で、この大学院での学びに期待したい。 ・海外研修では色んな気づきがあると思う。当市から海外展開している企業でも管理職になるにはTOEIC600点以上が条件となっており、国際人でないと駄目だとされている。市の財政状況は厳しいが、やりくりして職員を大学院に派遣し、この大学院で得られる新しい知恵や人脈を活用出来れば、その価値はあると思う。大学院に行っても、課題の答えは見つからないかもしれないが、ヒントは見つかると思う、さらに、院生同士等の横の繋がりができ、連携によるアイデアが生まれれば、イノベーションにつながると思う。 ・当市では、人口減少と言う初めてのことに直面しており、やっていることは全て実験になっていて、これまでの成功体験が通用しない状況にある。例えば、これまでは企業誘致により活性化が図れたが、現状では、誘致すると人手不足が生じ、人材の取り合いとなり、海外からの人材確保が必要となる。また、誘致した大企業に、地元の中企業が人手を取られるということもあり、大きな課題となっている。人手不足が経済縮小を招き、インバウンドとなり、国際人を育成しないといけないことになっている。 ・職員の研修は、現在、課長登用に際しては、マネジメント関係の民間研修に大阪に出しているが、この大学院でやってくれるのなら、代えることも考えられ、将来的なコンソーシアム形成により、本人だけでなく、周囲の人間にも学びの場を提供願えるなら、本当に有り難い。 ・常に学びが必要であり、人口減少に直面し、これまでの成功事例が通用しない今、学びの姿勢が大事である。役所も人材を育てて行く必要がある、この大学院で民間人と一緒に学ぶことが出来れば変わると思う。また、教員にもこちらに来て貰って、職員みんなに学びを提供願えれば、さらに有り難い。大学院への派遣に加え、コンソーシアムを通じた連携により互いの学びとなると思う。この大学院の内容は面白く、私自身が行きたいと思った。希望者は是非行かしてやりたい、また、連携もしたい。 	外国人住民数 328名
7	<p>自治体 7</p> <p>(5/16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際化に関し、インバウンドの影響は大きく、当市においては、〇〇の生誕記念や浙江省との交流記念の節目等において、職員の意識改革に努めて来た。大学院で学ばせるのは大きな投資であり、現在は1名を外務省に派遣している。過去には海外で勉強したいと女性職員が離職したこともある。意欲がある者がいれば派遣制度を作れると思うが、現時点では、北陸新幹線延伸等で大学院派遣の余裕がないが、2023、2024年度辺りであれば対応は可能と考える。 	外国人住民数 401名

8	自治体 8	<p>(7/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院への職員の派遣について、その必要経費を町が負担することに議会の承認が得られるかはあるが、町民のグローバル意識が高まれば可能と考えている。町としては〇〇サミット構想やテレワーク、IOT への取組みなどを検討し、当町には国際感覚が豊かな人材が集まって来ていることから、国際感覚のある職員は必要だと思っている。シリコンバレーに勤めていた米国の若者がたまたま当町に来てここを気に入る、街づくりセンターに関わってくれている。そこで〇〇バレー構想を考えている。 <p>(11/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲のある職員を派遣したい。町として人材を育成していく必要があるが、大学院に行きたいという職員がいると嬉しい。 ・若い職員に行って欲しいと考えており、独身で自由が利く職員が適当かもしれない。2020年か2021年に職員を派遣したい。 ・役場には専門家が必要であるが、色々と企画できる人材、大きな視点で考えられる人材も必要である。 <p>【具体の派遣計画の提示あり】</p>	外国人住民数 257名
9	自治体 9	<p>(5/14)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部への研修派遣により職員の質が高くなっている、国際感覚を持つ人材の育成は重要であり、当市では仏からの職員を受け入れている。現在の自治体大学研修と同様に考えれば、大学院への職員の派遣は可能で、2020年度派遣（無理なら2021年度）に向け大学院に職員を派遣する仕組み、ルールを考えたい。（この後、市長交代） <p>(11/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院への派遣費用はどう考えるべきか、民間の国際経営感覚と自治体の国際化が合うかどうか。現在、市ではいろいろな国際関係の取組みを展開しているので、一度、整理したいと考えている。 ・目的意識を持たせないと、ただ派遣しただけでは勿体ない。国際的な視点は外せないと思うが、市の事情としては基盤固めの段階である。ただし、この派遣については、今後、前向きに検討したい。 	外国人住民数 455名
10	自治体 10	<p>(5/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この大学院の取組は良いと思う。意欲のある職員がいれば派遣したいが、現時点では余裕がなく困難な感じである。現在、働き方改革を進めており、それで余裕が出てくれれば派遣したい。これからは企画力のある人間が絶対に必要であり、こういう学びの機会が良い。当市は、現在、「やる気職員支援制度」を設け、給料を保障し、長く二週間の派遣を行っているが、その延長上に置くことが考えられる。 ・また、学部卒者が、こうした専門職大学院のカリキュラムを経て、入って来て貰えると良い。 <p>(11/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市として都合の良い派遣年度を希望することが出来るのか。 ・大学院への職員の派遣について、その費用に対する補助制度は現在ないが、修学に伴う部分休業制度はある。職員の負担を考えると、日中に授業がある方が良いかもしれない。 ・派遣について、引き続き検討したい。 	外国人住民数 279名

11	自治体 11	<p>(7/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当市は人口の5%が外国人で、日系ブラジル人が圧倒的に多い。学校によってはクラスの半分がブラジル人と言うこともある。学校現場では、日本語を話せない親との会話に支障があったり、親子間のコミュニケーションにも問題が生じている。 ・現在、市の職員にブラジル人が1名、中国人が1名いる。ブラジルの母国語はポルトガル語であり、他大学と共同でポルトガル語の講座を開講したりしている。多文化共生が1番の課題であり、英語と言うよりはポルトガル語やブラジル文化が地域課題にとって必要となっている。 ・今後の法改正で外国人居住者はさらに増え続けると見込まれ、海外展開やグローバル化と言うことでなく、自治体としては地域課題の解決が1番だと考えている。このため、来年度、早ければ今年度より市職員採用試験にポルトガル語加点を取り入れる。 ・職員の各種研修については、挙手制で意欲があり目的が明確な人間を行かせている。この大学院についても、希望者がいれば、派遣を考えたい。 	外国人住民数 3,810名
----	--------	---	------------------

備考：自治体は外国人住民数 200 名以上の市・町を対象に折衝を行った。

(白 紙 ペ ー ジ)

専門職大学院に関するアンケート調査（考福塾第5期塾生39人対象 平成30年2月実施）

【業 種】

建設業(1), 製造業(15), 電気・光熱水業(1), 情報通信業(3), 卸売・小売業(3), 金融・保険業(3), 生活関連サービス業(2), 教育・学習支援業(3), 医療・福祉業(1), 公務員(2), 農林業(2), その他(3)

【職 種】

事務職(8), 販売職(9), 専門・技術職(10), 生産工程職(1), サービス業(2), 管理職(6), その他(企画部門)(3)

【年 齢】

20歳代(4), 30歳代前半(14), 30歳代後半(19), 40歳代(2)

質問1. 国際地域学部の上にマネジメントの実践的な力量を身に付けることを目的とする専門職大学院をつくることについてどう思いますか。

あったほうがいいので賛成する	もっと研究を深める大学院が必要	もっと広く教養・知識を身に付ける大学院が必要	わからない
16	5	6	9

質問2. このような大学院に進学したいという気持ちはありますか。

大いにある	考えてみたい	他の大学院に行く	進学は考えていない
2	14	2	18

質問3. その大学院にはどのような分野があるといいと思いますか(複数に○も可)。

英語や日本語等の言語の能力を高める	様々な国際機関や国際進出企業等で活躍できる能力を高める	企業や組織での経営的・マネジメント的能力を高める	地域づくりについての専門的な力量を高める	その他
7	16	16	11	4

その他: 地域マーケティング(1)

上記のどの分野であっても、実践的なシミュレーションをまじえて学べるといいと思う(1)

半数が外国からの留学生というような国際的な学部であったほうが良いと思う(1)

福井の魅力を海外に発信していく人材の育成, 県内企業の海外進出の手助けとなる人材の育成(1)

質問4. 教育課程の中に次のような内容を置くことは必要と思いますか。

	ぜひ必要	あった方がいい	必要ない
海外でのインターンシップ	10	20	1
国内でのインターンシップ	7	18	3
国内外での研修・実習	9	20	0
異業種企業等での研修	7	22	0
他大学の大学院の科目の履修	0	11	12
学部・大学院の一貫による1年短縮修了	1	14	7
その他	0	1	0

その他: 単位をとる目的でなく, 社会人(企業)からも参加できるカリキュラムがあるといいと感じた(1)

(白 紙 ペ ー ジ)

専門職大学院に関するアンケート調査（国際地域学部生対象）

平成30年2月実施（50人から回答あり）

1 進学希望について

〔質問〕構想中の専門職大学院がつくられるとすると、そこに進学する気持ちはありますか。

項 目	人数(人)
① 大いにある	3
② 考えてみたい	14
③ 他の大学院に行く	8
④ 進学は考えていない	24
⑤ 未回答	1

2 分野について

〔質問〕本専門職大学院の分野として、どのようなものがあると良いですか（複数回答可）。

項 目	人数(人)
① 英語や日本語等の言語の能力を高める	20
② 様々な国際機関や国際進出企業等で活躍できる能力を高める	35
③ 企業や組織での経営的・マネジメント的能力を高める	23
④ 地域づくりについての専門的な力量を高める	16
⑤ 文理融合型学習をさらに深める	3
⑥ 未回答	3

平成30年5月実施（57人から回答あり）

3 進学希望について

〔質問〕学部卒業後の進路を、1)大学院・専門学校等への進学、2)現在考慮中、3)まだ考えていない、と答えた方に尋ねます。本専門職大学院への進学を希望しますか。

項 目	人数(人)
① 希望する	0
② 選択肢の一つとして考えたい	5
③ 期待できる内容ならば進学したい	6
④ 希望しない	6
⑤ わからない	0

4 カリキュラムについて

〔質問〕本専門職大学院への進学を、①希望する、②選択肢の一つとして考えたい、③期待できる内容ならば進学したい、と答えた方に尋ねます。もし、この専門職大学院で学ぶとすれば、どのような内容のカリキュラムが望ましいと思いますか。以下の選択肢から選んで回答してください（3つ以内）。

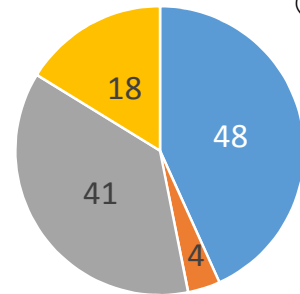
項 目	人数(人)
① 海外の社会・経済の多様な事情が理解できる	8
② 企業経営を進めていくうえで必要な知識を得ることができる	4
③ 海外で事業活動を展開する際のさまざまな課題を理解できる	7
④ 海外で多くの人と付き合い力が身に付く	4
⑤ 海外をマーケットとして起業する際のノウハウが身につく	6
⑥ 途上国の開発に携わるために必要な力が身につく	0
⑦ 将来国際的な事業で活躍するための契機となる	2
⑧ 英語などの外国語の能力が高まる	2

専門職大学院についてのアンケート調査（平成30年12月実施）

（アンケート対象：平成30年度国際地域学部2, 3年次生124人, うち回答数111人）

1 このような専門職大学院への進学についてどう考えますか。

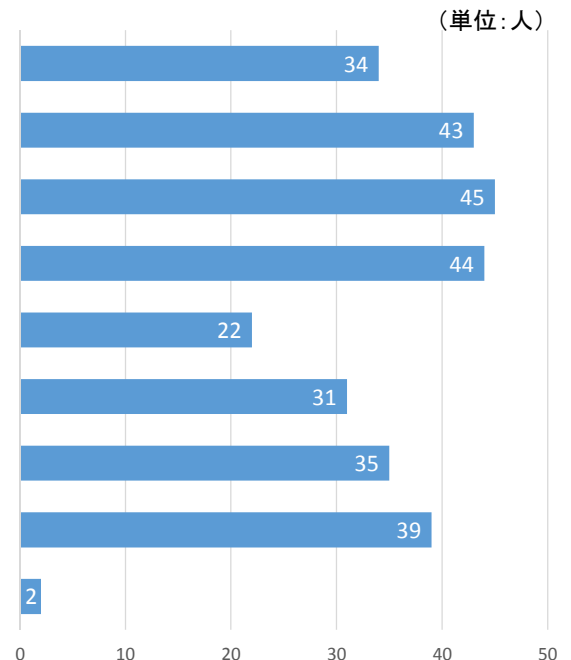
- (1) 選択肢の一つとして考えたい
- (2) いったん就職した後に、改めて社会人としての入学を希望する
- (3) 希望しない
- (4) わからない



(単位:人)

2 もし、この専門職大学院で学ぶとすれば、どのような力量や知識を身につけることを望みますか。
以下の選択肢から選んで回答してください(3つ以内)。

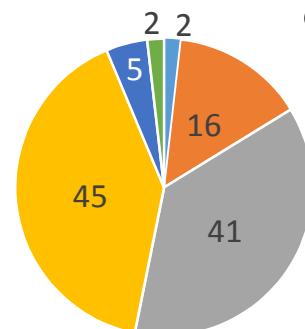
- (1) 様々な国・地域における社会・経済の事情を理解する
- (2) 事業を運営していくうえで必要なマネジメントに関わる知識を得る
- (3) 事業の企画に必要な発想力・デザイン能力を身につける
- (4) 海外で事業活動を展開する際に必要な知識、および交渉力・行動力を身につける
- (5) 国内および国外におけるマーケットの開拓に必要な知識を身につける
- (6) 移民問題やインバウンド対策、少子高齢化などこれから地域にとって政策的に必要となる課題に関する知識を得る
- (7) 日常的に外国人や外国企業などとの取引や交渉をスムーズに行う力を身につける
- (8) 高度な英語能力、ビジネスを含む実用的な英語能力を身につける
- (9) その他



(単位:人)

3 この大学院の授業は、社会人が働きながら通えるように、基本的に平日の夜間、土曜、休業期間中に行われますが、あなたはどのようなライフスタイルを想定しますか。

- (0) 無回答
- (1) 日中は、学部の未履修科目を履修したり、他の学校等に通ったりするなど、自学に努める
- (2) 日中は、アルバイトなど時間的に融通の利く職に就く
- (3) 大学院と就職を両立できるような就職先を探す
- (4) その他
- (複数回答)(1), (2)



(単位:人)

専門職大学院に関するアンケート調査（工学部生対象）

平成30年2月実施（435人から回答あり）

1 興味・関心について

〔質問〕構想中の専門職大学院に興味がありますか。

項 目	人数(人)
① 興味がある	185
② 興味はない	112
③ わからない	138

2 分野について

〔質問〕本専門職大学院への進学を考えた場合、どのようなことを学べたら良いですか（複数回答可）。

項 目	人数(人)
① 語学力	206
② 国際情勢や文化の理解	107
③ 経営・マネジメント能力	172
④ コミュニケーション力	219

平成30年5月実施（230人から回答あり）

3 進学希望について

〔質問〕学部卒業後の進路を、1)工学系以外の大学院・専門学校等への進学、2)現在考慮中、3)まだ考えていない、と答えた方に尋ねます。本専門職大学院への進学を希望しますか。

項 目	人数(人)
① 希望する	0
② 選択肢の一つとして考えたい	13
③ 希望しない	10
④ わからない	2

4 カリキュラムについて

〔質問〕本専門職大学院への進学を、①希望する、②選択肢の一つとして考えたい、と答えた方に尋ねます。もし、この専門職大学院で学ぶとすれば、どのような内容のカリキュラムが望ましいと思いますか。以下の選択肢から選んで回答してください（3つ以内）。

項 目	人数(人)
① 海外の社会・経済の多様な事情が理解できる	32
② 企業経営を進めていくうえで必要な知識を得ることができる	30
③ 海外で事業活動を展開する際のさまざまな課題を理解できる	16
④ 海外で多くの人と付き合う力が身に付く	15
⑤ 海外をマーケットとして起業する際のノウハウが身につく	8
⑥ 途上国の開発に携わるために必要な力が身につく	5
⑦ 将来国際的な事業で活躍するための契機となる	21
⑧ 英語などの外国語の能力が高まる	24

(白 紙 ペ ー ジ)

地域企業及び自治体のニーズ・期待

< () 内は当該ニーズのあった企業・自治体。順不同 >

- ・製品の8割が海外で使われているにも関わらず、海外のことを全く知らないというわけにはいかないと思っている。世界を相手としたビジネスなのでグローバル感覚を身につけることは重要と考えている。この大学院の方向性は本社の方向性とも合っているので積極的に協力をしていきたいと考えている。(企業1)
- ・事業の50%以上は海外向けであり、国内向けだけでやっては行けず、海外とは切っても切れない。このような大学院で学ぶことはいいことだと思う。会社から近くの大学でもあるので、できる限りの協力をしたい。(企業33)
- ・将来の幹部候補生の育成ということでは必要なプログラムだと考える。(企業13)
- ・社内で力を付けてきた社員に、海外でのそのような経験も積ませたいので、この大学院に関心がある。この大学院構想はとても良いと思う。(企業11)
- ・働きながら学べるということは魅力的。将来の幹部候補生にこのような大学院での学びは必要だと思っている。(企業16)
- ・海外進出のための人材育成が必要と考えていたところ、この大学院設置の話を知った。
(企業4)
- ・東京には学ぶ機会も多いが、地方は少なく、福井にこのような大学院が出来ることは良いと思う。(企業24)
- ・このような機会で基礎を身に付けて貰いたいと思う。弊社はものづくりなので、現在、海外には、機械系ばかりで、財務を知らない者が行っている。そのような人間に2年間勉強して行ってもらうことは価値がある。現地で社長になる人間に対し、この大学院で事前準備が出来るに越したことはなく、お願いしたい。(企業8)
- ・海外進出を考える上で、語学力が豊かな人材は必要であり、この大学院でそのような人材育成ができるのなら考えてみたい。(企業30)
- ・グローバルな視野を持つことは今後のことも考えとても重要。(企業31)
- ・この大学院についてはとても興味がある。自身がロシアに行ったとき、事前にこのようなことを学んでおけば全然違ったと思う。(企業29)
- ・今回の構想を聞いた時に非常に興味を持った。この大学院で国際的な視野で学んで貰いたい。地元の大学でこのようなことをやって貰えるのはありがたい限りである。是非とも実現して欲しい。(企業27)
- ・中小企業にとって、このような大学院のニーズはあると思う。(企業29)
- ・この大学院は人間の総合力を高める大学院だと思う。自分の時代にこういう大学院があったら進学したかった。(企業36)
- ・これからの事業展開の中でタイミングが合えば、人材育成の点でこの大学院は面白いかもしれない。(企業49)
- ・面白い取組みだと思う。私自身、社会人になってからも学びの場があればと思っていたので、積極的に考えたいとは思っている。(企業42)
- ・仕入れ、販売ともに海外の比率が大きく、買うにも売るにも外国人との付き合いは重要とな

- っている。この大学院で研修した社員が社内に居ることは将来に向け、非常に良いことだと思う。この大学院構想は、ユニークな取組だと思う。(企業 3)
- ・この大学院を通じ、海外で学んで来ると、一層能力を発揮できると思う。このような人材育成をもっと大学でやるべきであり、積極的に賛成する。(企業 22)
 - ・福井にこのような大学院が準備されることは幸せだと思う。平常時に限界を感じることもあり、このような場は魅力がある。(企業 19)
 - ・院生同士のつながりができることはいいと思う。(企業 26)
 - ・この大学院を通じ、異業種と関われるのは有意義である。今すぐの海外事業展開はないが、いずれそうなると思う。その際の人材育成について、こういった大学院で学べるのはいいことである。(企業 34)
 - ・このような大学院で学ぶことは、中小企業でも必要だと思う。(企業 25)
 - ・異業種の情報交換にも有益だと思う。(企業 54)
 - ・この大学院は、異業種も含めた人脈作りに良く、修了生同士のネットワークは非常に有効だと思う。(企業 50)
 - ・外国人の定着に向け、この大学院がレールを敷いていくのが良いのではないかと思う。この考えに賛成で、地方大学が特色を出していくため、福井大学カラーを出していくことは大事。福井にどんどん人が入ってくるためにも、この構想は良いと思う。会社に入ってから学びは必要で、仕事をしながら学ぶ、自己研鑽が必要であり、そうでないと続かない。(企業 5)
 - ・この大学院を使って人材育成が出来るなら、会社の方針にぴったりである。(企業 20)
 - ・このような大学院の立ち上げは大事だし面白い。(企業 52)
 - ・この大学院の内容は面白い。私自身(常務)が入りたい。(企業 35)
 - ・実社会に出た者に対する教育として、非常に良い話であり、この構想に賛同する。(企業 56)
 - ・この大学院構想は面白く、自身も学び直しが出来たらと思う。AI とかの狭い分野に限定されるのではなく、広い視野を持った人との連携が必要であり、専門技術は持っているので、明るく広いビジネスモデルを発想できることが必要となっている。(企業 23)
 - ・世代交代を考えている企業であれば規模が小さい会社でもこのような大学院で後継者を勉強させたいと思う。県外の大学院に行ってもそのまま帰ってこない人も多いので、地元でこのようなことを学べるのはコスト的にも時間的にもメリットがあり有り難い。(企業 46)
 - ・現在、社員の研修には外部講師、産業能率大学や中小企業産業大学校を利用しており、余裕が出て来れば、この大学院を活用し、社員のレベルを一段階上に上げて行きたいと思う。
(企業 43)
 - ・国際港湾都市であり、英語能力が必要、授業以外での交流が出来ると良い。(自治体 5)
 - ・国際感覚を持つ人材の育成は重要。(自治体 9)
 - ・語学や観光ノウハウは重要と考えている。そのために広く人材確保が必要と考え、職員採用時の年齢制限も撤廃したところであるが、今の市の職員が、この専門職大学院で学んで、市に戻り役に立ってくれることが最も良く、この大学院設置は非常にありがたい。(自治体 6)
 - ・これからは企画力ある人間は絶対に必要であり、こういう機会は良い。(自治体 10)

以上

専門職大学院の教育内容に関するニーズ

1 教育への要望等について

企業・自治体との個別折衝から抜粋

- ・会社が独自でできないプログラムが良い。
- ・大学院でグローバルな視野を持つことができ、異文化を経験できることは非常に良い。
- ・マネジメントリーダーの育成が必要。国際的な視野で学んでもらいたい。
- ・海外進出に際し、事前に、語学、財務、マネジメントを総合的に学びたい。
- ・マネジメント能力の勉強は立場が上になるほど必要。このように学べる機会があるのは良い。
- ・新しいビジネスモデルを考えることのできる人材育成を期待する。広いビジネスモデルを発想できることが必要。分析力、マネジメント力が重要。
- ・深くより、浅く広くとらえることも大事。実際のビジネスと関連付けて学ぶことは重要で、商社等でマーケティングが学べると良い。
- ・この大学院でグローバルなマーケティングができる力が付くと良い。
- ・経営的なことを学び、経営者を育てるために、この大学院は良い。
- ・MBA 的経営の基本、土地勘、商習慣等も必要。
- ・ディベート力、論理性、新しい考え方が必要。
- ・広い視野で新しいことをどんどんやっていく政策立案能力は重要。
- ・この大学院で、人がやれないことを先導してやれる力、思考を持った人材を育成してほしい。
- ・机上の理論と実地のバランスが重要。
- ・実体験でのビジネス感覚や慣習等の理解が必要。
- ・福井大学でないと学べないという、一点尖らせる部分が必要。
- ・海外でネイティブと議論できると良い。
- ・異文化に飛び込み、新しい経験、刺激が必要。
- ・海外実地研修は、ヒアリング・レポートだけでは不十分で、実体験が大事。
- ・海外実地研修は、JICA 等、全く異なる体験をするのが良い。
- ・高度な経営・国際実務研修は良い。総合商社の中での実務経験ができるとありがたい。
- ・人間性、世界観、文化、哲学といった科目を加えるべき。
- ・マーケティング、コミュニケーション、アカウンティングの科目が必要。
- ・科目として、アカウンティング、財務、統計学が入るとすごくいい。
- ・観光に関するスペシャリストは重要。
- ・単に英語が話せるだけでなく、外国人とコミュニケーションできることが大事。
- ・技術系に社員にも英語が必須であり、技術系の人に語学力や国際感覚を身に付けてほしい。
- ・中国語の学びも必要。
- ・他の外国語も学べると良い。
- ・大学院を通じて異業種と関われるのは有意義。
- ・この大学院は異業種も含めた人脈作りに良い。修了生同士のネットワークは非常に有効。
- ・大学院への院生の派遣に加え、コンソーシアムのような連携により互いの学びになると良い。
- ・授業外でも交流ができると良い。大学院修了後も、継続的に学ぶことができると良い。

アンケート調査の自由記述から抜粋

- ・会社が独自でできないプログラムや全く別の分野が良い。異業種交流はメリットがある。
- ・国内での研修先は県内企業に限定しない方が良い。
- ・自社より大きな企業に派遣したい。総合商社の中での実務経験があるとありがたい。
- ・実際のビジネスと関連付けて学ぶことは重要で、商社ではマーケティングを学べると良い。
- ・単に英語が話せるだけでなく、外国人とコミュニケーションできることが大事。
- ・異文化に飛び込み、新しい経験、刺激が必要。海外でネイティブと議論できると良い。
- ・JICA等、全く異なる体験をするのが良い。
- ・学ぶなら、海外諸国での文化、習慣や仕事のやり方の違い等。
- ・新興国の民間企業や公的機関等に学生を派遣し、実践的な就業体験の機会の提供。
- ・座学の学びをベースに海外企業の訪問、ヒアリング・レポートだけでは役に立たない。主体的に動かなければ意味がない。
- ・海外で日本の常識は通じない。まずは実体験でビジネス感覚や慣習等の理解が必要。
- ・アセアン域内の大学等に寄附講座を開設し、講義・インターンシップ・ジョブフェアを通して現地日系企業で即戦力となる学生を育成、日系企業への就職を促す仕組みづくり。
- ・MBA的経営の基本、土地勘、商習慣等も必要。
- ・高度な経営・国際実務研修が良い。
- ・JETROも活用するが、更なる情報収集のための経営者の能力が必要。
- ・高度専門職業人養成のために、ビジネス・MOT分野のカリキュラムを入れてはどうか。
- ・参加者との交流や他社取組事例等を参考に、マネジメント能力や国際感覚を身に付けてほしい。
- ・分析力、マネジメント力は重要。
- ・科目として必要なのは、マーケティング、コミュニケーション、アカウンティング、財務、統計学。
- ・心理学等、コミュニケーション能力に生かせる学問、能力を身に付けてほしい。
- ・インバウンドの取り込みが必須の課題。観光に関するスペシャリストの育成が重要。
- ・継続的に学ぶことができると良い。
- ・e-Learningも取り入れた授業形態にしてはどうか。
- ・数年で単位取得が可能となる仕組み（例：1年の半分を使って受講×2年＝1年分）
- ・企業の計画に合わせて入学時期を変えることができる柔軟性があると良い。

2 海外実地研修について

(質問) この大学院では、語学・分析ツール・専門分野の知識に加え、「海外実地研修」(を大きな柱と考えていますが、次のどの実地研修に最も期待されますか(複数回答可)。

【法人・団体等】(21社から回答あり)

(単位:人)

項目	人数
① JICAでの短期ボランティア or インターンシップによる実地体験	4
② 異業種の海外進出特定企業での実務体験	6
③ 一国又は複数国に滞在し、現地の進出企業等でのヒアリング・同行研修	3
④ 欧米の大学等での短期研修	4
⑤ 総合商社での短期実務研修	9
⑥ ユネスコでのプロジェクト参加型研修	2
⑦ その他	2